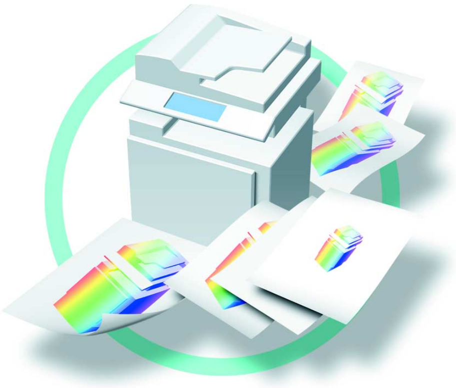
RICOH

IPSiO Color 8150

使用説明書
〈コピー機能 基本編〉



ご使用の前に必ずこの「使用説明書」をお読みの上、正しくお使いください。
本書をすぐに利用できるように保管してください。

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず使用説明書「安全上のご注意」をお読みください。

株式会社リコー

複製、印刷が禁止されているもの

本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意ください。

1. 複製、印刷することが禁止されているもの
（見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。）

- 紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
- 日本や外国の郵便切手、印紙

    - **（関係法律）**
        - 紙幣類似証券取締法
        - 通貨及証券模造取締法
        - 郵便切手類模造等取締法
        - 印紙等模造取締法
        - （刑法 第１４８条 第１６２条）

2. 不正に複製、印刷することが禁止されているもの

- 外国の紙幣、貨幣、銀行券
- 株券、手形、小切手などの有価証券
- 国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画
- 個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画

    - **（関係法律）**
        - 刑法 第１４９条 第１５５条 第１５９条 第１６２条
        - 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

3. 著作権法で保護されているもの

- 著作権法により保護されている著作物（書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など）を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

- 画面の表示内容は機種、オプションによって異なります。

●本機には紙幣偽造防止機能が搭載されています。このため紙幣に酷似した画像は誤って認識され、正常なコピーが取れないことがありますのであらかじめご了承ください。

●本書のコピーサンプルは、機能の差をわかりやすくするため印刷処理で表現してあります。本書のコピーサンプルと実際にコピーされた色は多少異なります。

●操作部の色と実際にコピーされた色は多少異なります。

この本の読みかた

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

※以上は、安全上のご注意についての説明です。

重要

誤って操作をすると、紙づまり、データ消失などの原因になることがあります。必ず、お読みください。

操作の前に

操作をする前に知っておいていただきたいこと、あらかじめ準備していただきたいことなどを説明しています。

補足

操作するときに気を付けることや、操作を誤ったときの対処方法などを説明しています。

制限

数値の制限や組み合わせできない機能、機能が使用できない状態を説明しています。

参照

参照先を示します。

[　]

画面のキーの名称を示します。

【　】

操作部（画面を除く）のキーの名称を示します。

おもなオプションの略称

本書中では次の略称で説明しています。

IPSiOドキュメントフィーダー タイプ8100→自動原稿送り装置（ADF＝Auto Document Feederの略）

IPSiO圧板 タイプ8100→原稿カバー

フィニッシャー タイプ8000→フィニッシャー

拡張HDD タイプCⅡ→拡張HDD（40GB）

IPSiOサイド排紙トレイ タイプ8100→サイド排紙トレイ

給紙テーブル タイプ8000→給紙テーブル

両面印刷ユニット タイプ8000→両面ユニット

目次

1. 基本コピー

使用説明書の分冊説明

コピー機能についての使用説明書には、「コピー機能 基本編（本書）」と「コピー機能 応用編（付属のCD-ROMに収録）」の2冊があります。本機の用途や状況に応じて使い分け、スムーズなご使用にお役立てください。

コピー機能 基本編（本書）

基本的なコピーのとりかたや、拡大／縮小や両面コピーなど基本的な機能について説明しています。必要になったときにすぐ手にできるように、本機の近くに保管してください。

コピー機能 応用編（付属のCD-ROMに収録）

コピーをより便利に使いこなすための機能や、各種設定などについて説明しています。

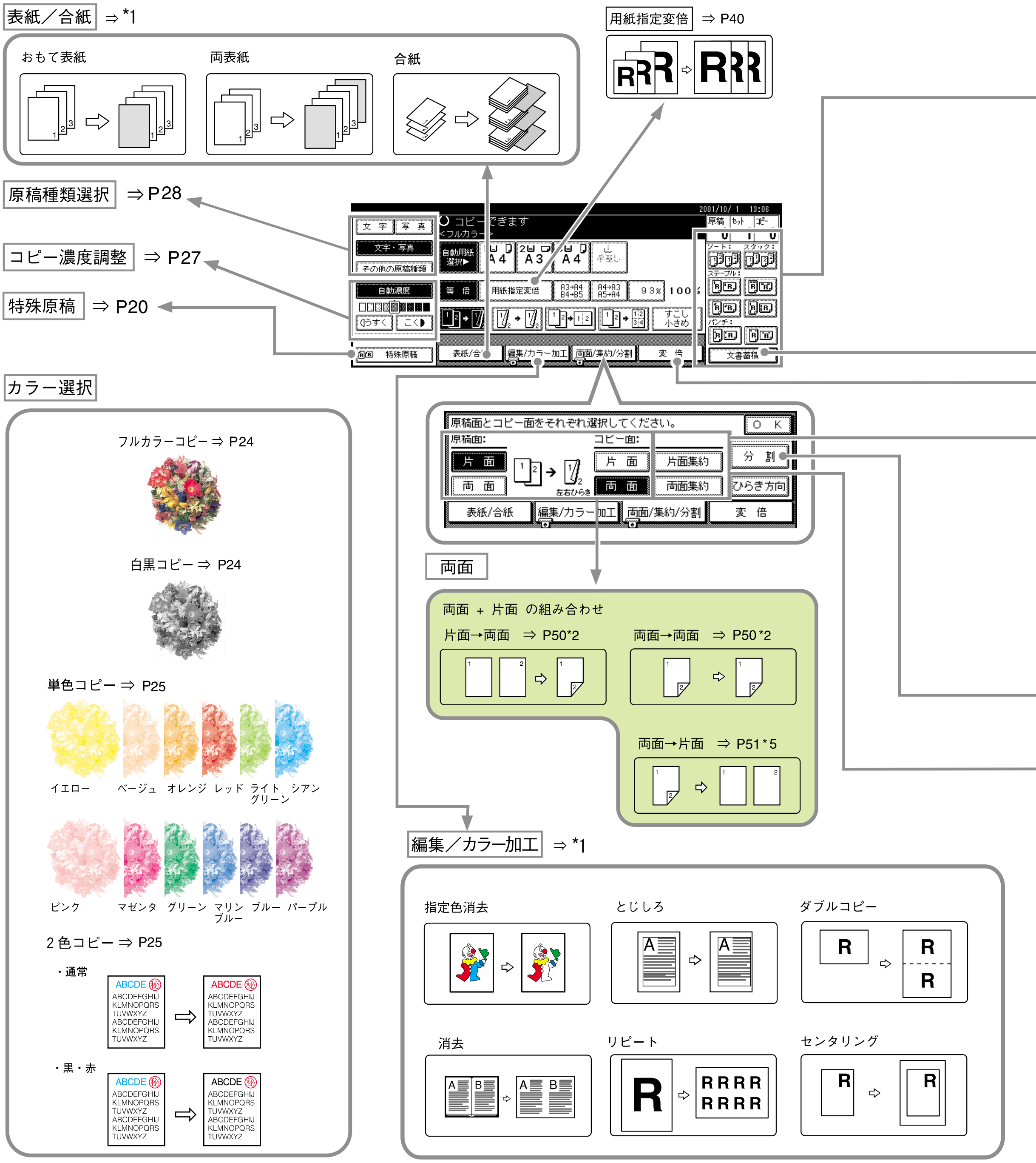
❖ **第1章　応用機能／画像編集機能**
タテヨコの比率を変えてコピーする、表紙や合紙をつけるなどの編集機能や、カラーコピーの色を作成、登録する機能などについて説明しています。

❖ **第2章　こんなときには**
思いどおりにコピーがとれないときの対処方法や、画質調整やカラー調整の方法について説明しています。

❖ **第3章　コピー初期設定**
コピーするときの各種設定について説明しています。

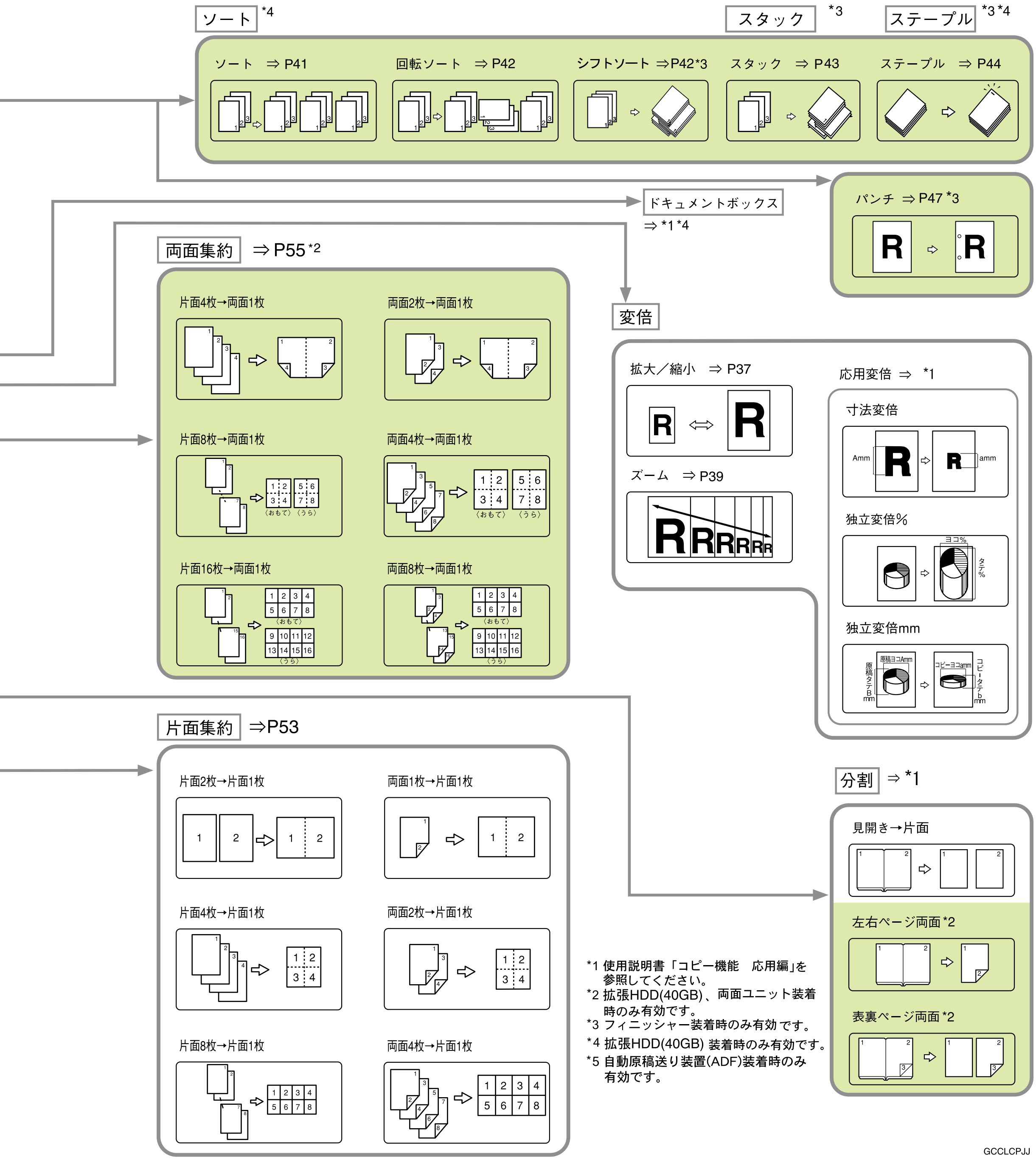
❖ **第4章　付録**
本機の仕様、また原稿用紙や用紙について説明しています。

こんなことができます



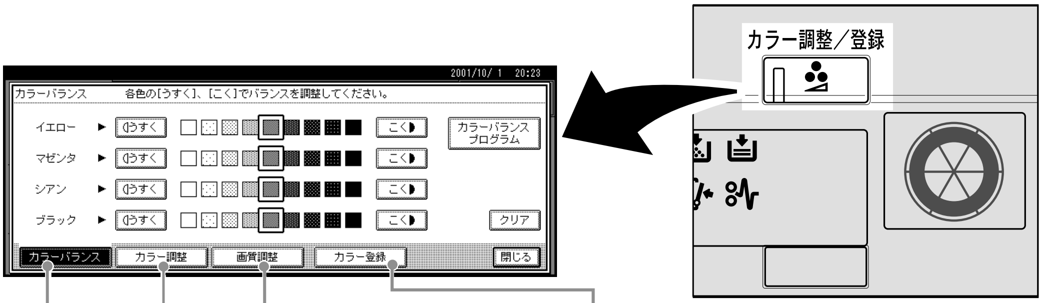
表紙／合紙 ⇒ *1
おもて表紙
両表紙
合紙
用紙指定変倍 ⇒ P40
原稿種類選択 ⇒ P28
コピー濃度調整 ⇒ P27
特殊原稿 ⇒ P20
カラー選択
フルカラーコピー ⇒ P24
白黒コピー ⇒ P24
単色コピー ⇒ P25
イエロー　ベージュ　オレンジ　レッド　ライトグリーン　シアン
ピンク　マゼンタ　グリーン　マリンブルー　ブルー　パープル
2色コピー ⇒ P25
・通常
・黒・赤
ABCDE
ABCDEFGHIJ
KLMNOPQRS
TUVWXYZ
原稿面とコピー面をそれぞれ選択してください。
OK
原稿面:
コピー面:
片面
両面
片面集約
両面集約
分割
ひらき方向
表紙/合紙
編集/カラー加工
両面/集約/分割
変倍
両面
両面 ＋ 片面 の組み合わせ
片面→両面 ⇒ P50*2
両面→両面 ⇒ P50*2
両面→片面 ⇒ P51*5
編集／カラー加工 ⇒ *1
指定色消去
とじしろ
ダブルコピー
消去
リピート
センタリング

オプションが必要



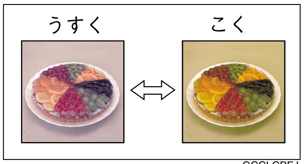
*1 使用説明書「コピー機能　応用編」を参照してください。
*2 拡張HDD(40GB)、両面ユニット装着時のみ有効です。
*3 フィニッシャー装着時のみ有効です。
*4 拡張HDD(40GB) 装着時のみ有効です。
*5 自動原稿送り装置(ADF)装着時のみ有効です。

こんなことができます<カラー調整機能>



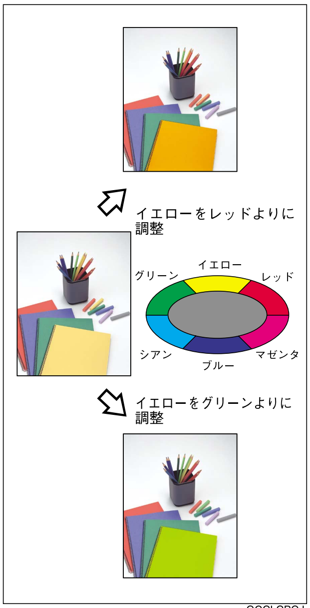
ZFNS014J

カラーバランス調整 ⇒ *1



GCCLCPFJ

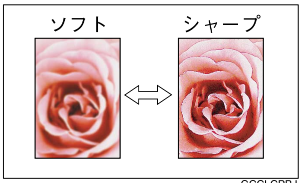
カラー調整 ⇒ *1



GCCLCPGJ

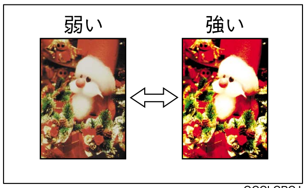
画質調整 ⇒ *1

シャープ／ソフト



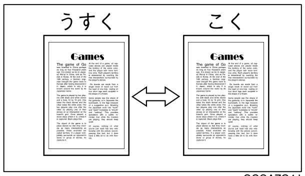
GCCLCPBJ

コントラスト



GCCLCPCJ

地肌調整



GCGAZO4J

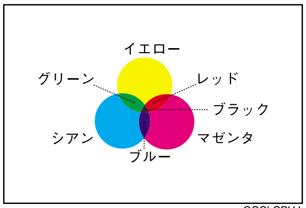
UCR調整

文字・写真判定調整

カラー登録 ⇒ *1

色の3原色

イエロー・マゼンタ・シアン（色の3原則）を組み合わせることで色を表現することができます。イエロー・マゼンタ・シアンを重ねると「ブラック」になりますが，厳密には多少異なるためブラックのトナーを使って「ブラック」を表現しています。

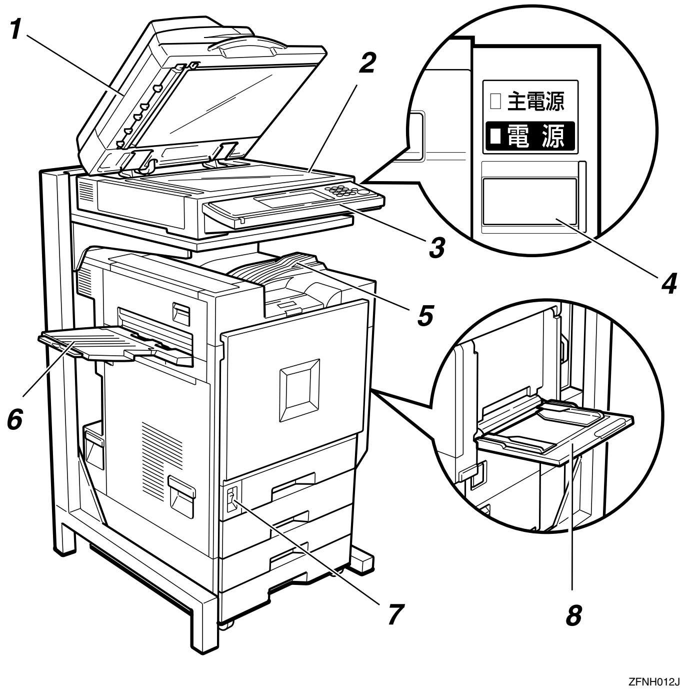


GCCLCPHJ

*1 使用説明書「コピー機能　応用編」を参照してください。

GCCLCPAJ

各部の名称とはたらき



***1.* 原稿カバー／自動原稿送り装置(ADF)**

（オプション。イラストは自動原稿送り装置(ADF)装着時のものです。）

ADFは一度にセットした複数枚の原稿を1枚ずつ自動的に送ります。

***2.* 原稿ガラス**

原稿をセットします。⇒ P.16 「原稿のセット」

***3.* 操作部**

⇒ P.8 「操作部各部の名称とはたらき」

***4.*【電源】キー**

電源を入れるときはキーを押し、電源のランプを点灯させます。電源を切るときはキーを押し、電源のランプを消灯させます。

補足

- ❒【電源】キーを押しても電源が入らないときは、主電源スイッチが「On」になっているか確認してください。「Off」になっているときは「On」にしてください。

***5.* 本体トレイ**

コピーされた用紙がコピー面を下にして排出されます。⇒使用説明書「システム設定編 2 スキャナーユニット　タイプ8100対応版」「排紙先：コピー（コピー機能のみ）」

***6.* 左上トレイ**

コピーされた用紙が、コピー面を上にして排紙されます。

***7.* 主電源スイッチ**

「Off」にすると「主電源」のランプが消灯し、完全に電源が切れます。通常は手を触れないでください。

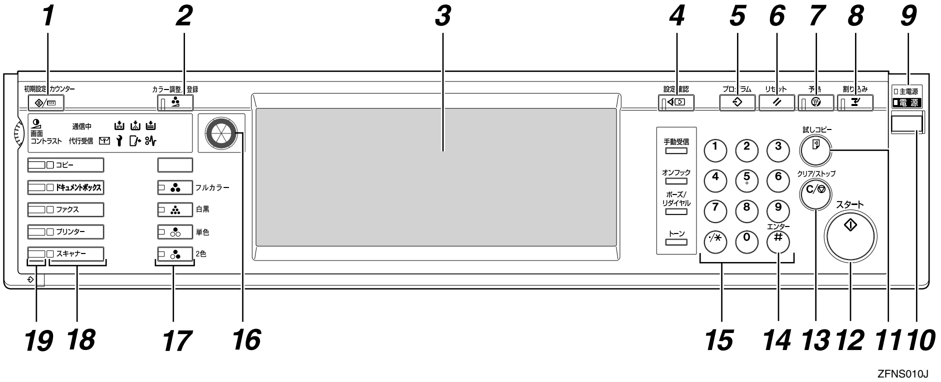
***8.* 手差しトレイ**

普通紙の他に、厚紙、OHPフィルムや不定形サイズの用紙などにコピーするときに使用します。

⇒ P.28 「手差しコピー」

操作部各部の名称とはたらき

イラストはオプション装着時のものです。



***1.* 【初期設定／カウンター】キー**

- 初期設定
  使用条件に合わせて、初期設定値や操作条件を変更します。⇒　使用説明書「コピー機能　応用編」「コピー初期設定」
- カウンター
  コピーまたは印刷した用紙の合計枚数を表示、印刷します。

***2.* 【カラー調整／登録】キー**

色の調整や色の登録ができます。⇒使用説明書「コピー機能 応用編」「カラー調整」「カラーバランス調整」「画質調整」「カラー登録」

***3.* 画面**

各機能の操作をするためのキーが表示されます、また操作の状態やメッセージを表示します。⇒ P.9「表示画面とキー操作について」

***4.* 【設定確認】キー**

設定の確認をするときに押します。

***5.* 【プログラム】キー**

よく使う設定を登録したり、呼び出したりします。⇒使用説明書「コピー機能 応用編」「プログラム」

***6.* 【リセット】キー**

設定した内容を取り消します。

***7.* 【予熱】キー**

キーを押すと予熱の状態になります。

予熱の状態のときに押すと予熱が解除されます。⇒使用説明書「コピー機能 応用編」「予熱」

***8.* 【割り込み】キー**

コピー中に割り込んで、別の原稿をコピーします。⇒使用説明書「コピー機能 応用編」「割り込みコピー」

***9.* 主電源ランプ**

主電源スイッチが「On」になっているときはランプが点灯します。

***10.*【電源】キー**

電源を入れるときはキーを押し、電源のランプを点灯させます。電源を切るときはキーを押し、電源のランプを消灯させます。

***11.*【試しコピー】キー（ソート機能使用時）**

複数部数コピーするときミスコピーを防ぐために、1部だけコピー出力し、仕上がりを確認することができます。⇒ 使用説明書「コピー機能 応用編」「試しコピー」

補足

❒ この機能を利用するためには拡張HDD（40GB）が必要です。

***12.*【スタート】キー**

コピーを開始したり、ドキュメントボックスの読み取りや印刷を開始します。

***13.*【クリア／ストップ】キー**

- クリア
  入力した数値を取り消します。
- ストップ
  コピーを中断したり、ドキュメントボックスの読み取りや印刷を中断します。

***14.*【#】キー（エンターキー）**

入力した数値を確定します。

***15.* テンキー**

コピー枚数などの数値を入力します。

***16.* カラーサークル**

カラー調整のとき、参考にしてください。

***17.* カラー選択キー**

原稿の種類やコピーの使用目的に合わせて、「フルカラー」「白黒」「単色」「2色」を切り替えます。⇒ P.21 「カラー選択」

***18.* 機能キー**

「コピー」「ドキュメントボックス」「ファクス」「プリンター」「スキャナー」の各機能の操作画面に切り替えます。⇒ P.13「機能を切り替える」

***19.* 機能別状態表示ランプ**

機能キーで選択された機能のランプが点灯します。

- 黄色に点灯しているときは、その機能が選択されていることを示します。
- 緑色に点灯しているときは、その機能が動作中であることを示します。
- 赤色に点灯しているときは、その機能が中断していることを示します。機能キーで画面を切り替え、表示されている指示に従って対処してください。

表示画面とキー操作について

画面には、操作の状態、メッセージや機能のメニューが表示されます。

重要

❒ 画面に強い衝撃や約30N[*1]（約3kgf[*2]）以上の力を加えないでください。破損の原因になります。

[*1] **N＝ニュートン**

[*2] **kgf＝重量キログラム（1kgf　9.8N）**

補足

❒ 表示されているそれぞれの機能項目は選択キーになっています。軽く押すことによって、項目を選んだり、指定したりすることができます。

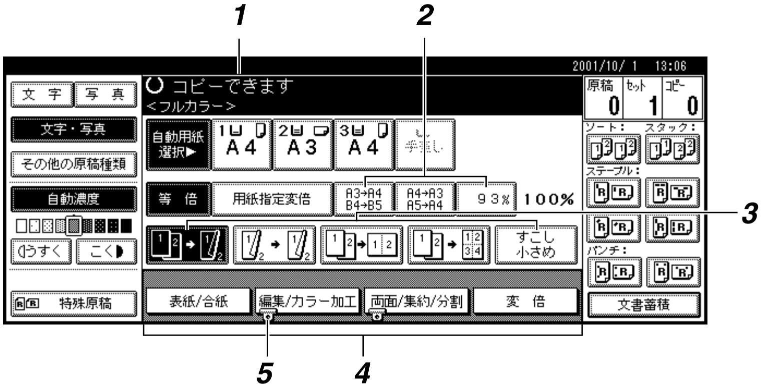
❒ 機能項目が選択、または指定されたとき、

のように黒く反転表示されます。

❒ 機能項目が選択、または設定できないとき、のようにうすく反転表示されます。

❒ 画面はフィニッシャー、給紙テーブル、両面ユニット、拡張HDD(40GB)を装着したときのものです。

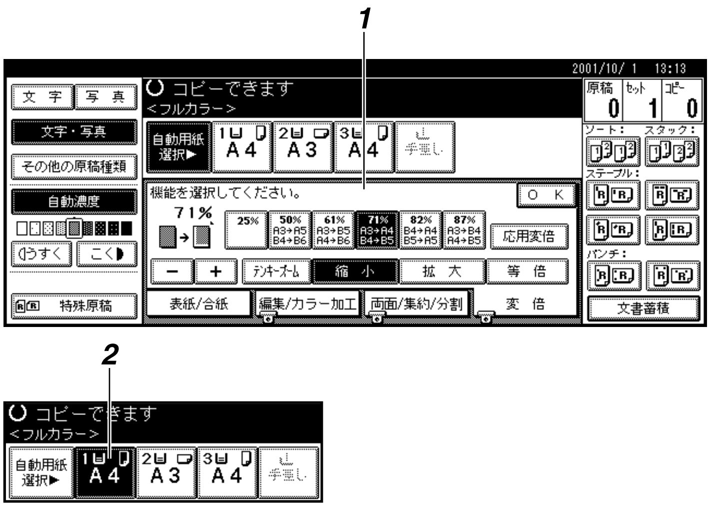
❖ コピー初期画面



ZFNS020J

1. **操作の状態、メッセージや選択したカラーモードが表示されます。**
2. **固定倍率以外でよく使用する倍率を3つまで登録することができます。⇒使用説明書「コピー機能 応用編」「基本画面倍率キー設定：１〜3」**
3. **登録機能の内容が表示されます。よく使う機能を登録しておくことができます。⇒使用説明書「コピー機能 応用編」「コピー登録機能キー：F1〜F5」**
4. **機能項目が表示されます。機能項目の1つを押すと、次の画面が表示されます。たとえば［変倍］を押すと下から変倍の画面が上がってきます。**
5. **現在選択されている機能のキーには、クリップマークが表示されます。**

❖ 機能選択時画面



ZFNS021J

1. **選択・指定できる内容が表示されます。**
2. **黒く反転表示されたキーが給紙しているトレイを表します。**

電源の入れかた

機械を始動するときは**【電源】**キーを押して電源を入れます。

補足

❒ 本機は電源「On」の状態で一定時間使用しないと自動的に予熱の状態になったり、電源を切る機能を搭載しています。⇒ 使用説明書「システム設定編2 スキャナーユニット タイプ8100対応版」「予熱移行時間設定」「オートオフ時間設定」

❖ **電源について**

本機には**【電源】**キーと主電源スイッチの2つの電源があります。⇒ P.7「各部の名称とはたらき」、P.8「操作部各部の名称とはたらき」

- **【電源】**キー（操作部右側）
  本機を動作させるときに押し、ランプを点灯させると「On」になります。ウォームアップ終了後コピーやファクスなどの操作ができます。
- 主電源スイッチ（本体正面左側）

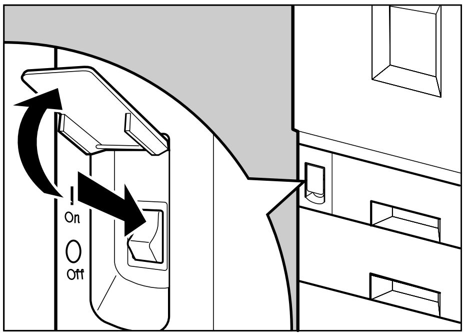
重要

❒ 主電源スイッチを「Off」にしたまま約1時間経過すると、ファクスのメモリーに蓄積されている内容が消去されます。⇒使用説明書「ファクス機能応用編」「主電源を切るときは」

主電源の入れかた

1 **電源プラグが確実にコンセントに差し込まれているか確認します。**

2 **本体の正面左側にある主電源スイッチを「On」にします。**



ZFNH051J

重要

❒ 主電源スイッチを「On」にした直後に「Off」にしないでください。ハードディスクやメモリーが破損したり、故障の原因になることがあります。

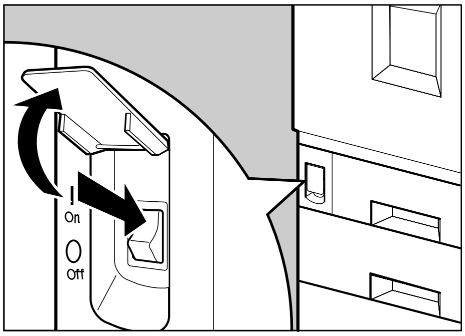
補足

❒ 主電源を入れてから119秒以下で使用できる状態になります。

1

電源の入れかた

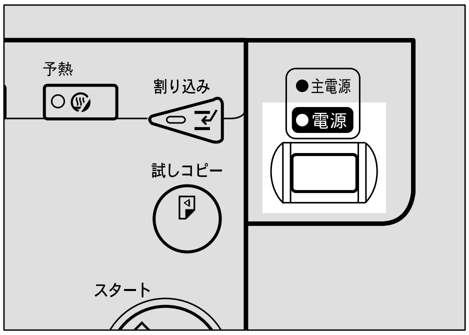
1 本体の正面左側にある主電源スイッチが「On」になっているか確認します。



ZFNH051J

2 操作部の右側にある【電源】キーを押し、ランプを点灯させます。

画面が表示されます。



ZDSS020J

補足

- ❒ **【電源】**キーを押しても電源が入らないときは主電源スイッチが「On」になっているか確認してください。「Off」になっているときは「On」にしてください。
- ❒ “コピーできます”が表示されないときは、ユーザーコードを入力してください。⇒使用説明書「システム設定編2 スキャナーユニット　タイプ8100対応版」「ユーザーコード管理」「ユーザーコードについて」

電源の切りかた

1 操作部の右側にある【電源】キーを押し、電源ランプを消灯させます。

補足

- ❒ **【電源】**キーを押しても、次のときは電源ランプは消灯せず、点滅します。
  - 原稿カバー、自動原稿送り装置(ADF)が開いているとき
  - 外部の機器と通信中のとき
  - ハードディスクが動作しているとき

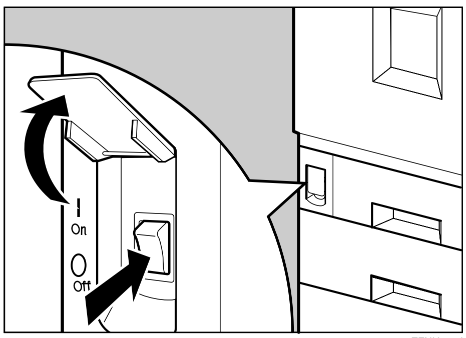
主電源の切りかた

1 操作部の右側にある電源ランプが消灯していることを確認します。

重要

- ❒ 電源ランプが点灯、点滅しているときは、主電源スイッチを「Off」にしないでください。ハードディスクやメモリーが破損したり、故障の原因になることがあります。
- ❒ 電源プラグは、主電源スイッチを「Off」にしてから抜いてください。ハードディスクやメモリーが破損したり、故障の原因になることがあります。
- ❒ 電源プラグを抜くときは、ファクス機能の画面でメモリー残量の表示が 100%であることを確認してください。
- ❒ 主電源スイッチを「Off」にしたり、電源プラグを抜いて約1時間経過すると、ファクスのメモリーに蓄積されている内容が消去されます。⇒使用説明書「ファクス機能 基本編」「主電源を切るときは」

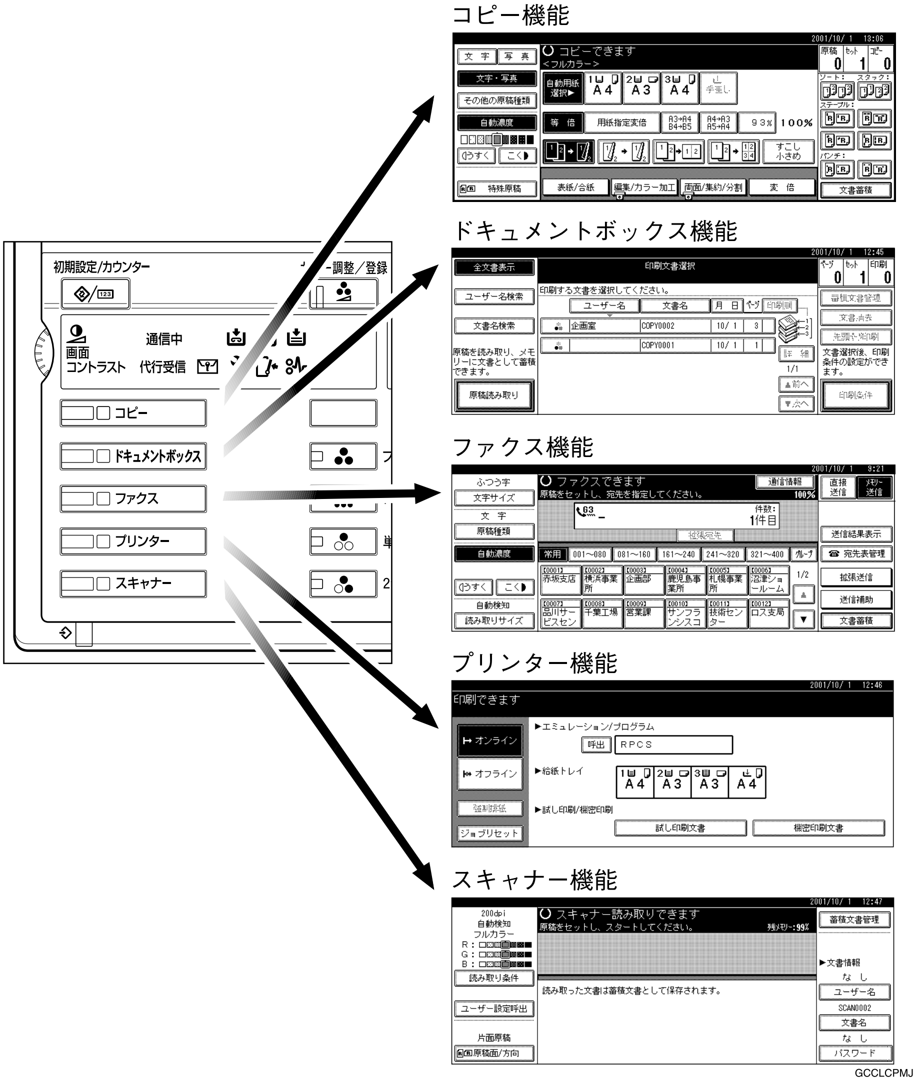
2 主電源スイッチを「Off」にし、主電源ランプを消灯させます。



ZFNH052J

機能を切り替える

機種によってはコピーのほかにドキュメントボックス、ファクス、プリンター、スキャナーとしても利用できます。コピー以外の機能の画面が表示されているときは**【コピー】**キーを押して機能を切り替えてください。また、**【電源】**キーを入れたときに表示される機能を変更することもできます。⇒使用説明書「システム設定編2 スキャナーユニット　タイプ8100対応版」「優先機能」



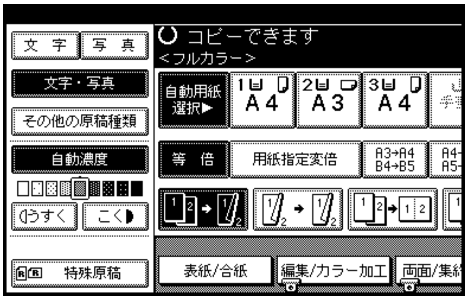
制限

- ❒ 次のとき、機能の切り替えはできません。
  - 割り込みコピー中
  - ファクスの原稿読み取り中
  - ファクスの直接送信中
  - ファクスのオンフック中
  - スキャナーの原稿読み取り中
  - 初期設定中

基本的なコピーのとりかた

1 **"コピーできます"が画面に表示されていることを確認します。**

コピー以外の機能が表示されているときは、**【コピー】**キーを押します。



2 **ユーザーコードが設定されているときは、テンキーでユーザーコード（最大8桁）を入力し、［#］を押します。**

コピーできる状態になります。

参照

ユーザーコードについて⇒使用説明書「システム設定編2　スキャナーユニット　タイプ8100対応版」「ユーザーコードについて」

3 **前の設定が残っていないことを確認します。**

補足

❒ 前の設定が残っているときは**【リセット】**キーを押し、入力し直します。

4 **原稿をセットします。**

参照

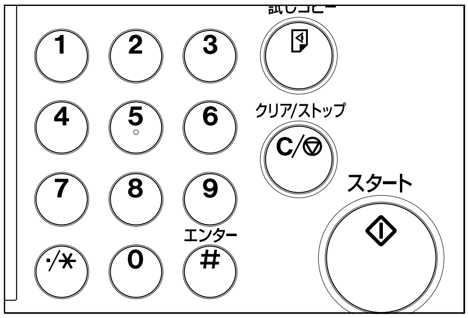
「原稿のセット」⇒ P.16

5 **機能の設定をします。**

参照

各機能を参照してください。

6 **テンキーでコピーする枚数を入力します。**



ZFNS011J

補足

❒ 入力できるコピー枚数は99枚までです。

❒ 間違えたときは、**【クリア／ストップ】**キーを押して入力し直します。

7 **【スタート】キーを押します。**

コピーが始まります。

補足

❒ 本体トレイ、サイド排紙トレイに排紙するときは、コピー面は下向きに排紙されます。左上トレイに排紙するときは、コピー面が上向きに排紙されます。

❒ コピーを止めたいときは**【クリア／ストップ】**キーを押します。

❒ 電源を入れた状態に戻したいときは**【リセット】**キーを押します。

カラーコピーの保存方法

- カラーコピーの退色は、カラー印刷物と変わりありません。ただし、長期間保存する場合は、バインダーなどに保存するか、光に当たらないようにしてください。
- コピーと生乾きの印刷物を重ね合わせると、トナーが溶けることがあります。
- コピーをはるとき、溶剤系の接着剤を使うと、トナーが溶けることがあります。
- コピーを折り曲げると、折った部分のトナーがはがれることがあります。
- 塩化ビニール製のマットにコピーを挟んだまま、温度の高いところに長時間放置すると、トナーが溶けることがあります。
- 暖房器具の近くなど、極度に温度が高くなるところにコピーを放置すると、トナーが溶けることがあります。

原稿のセット

1

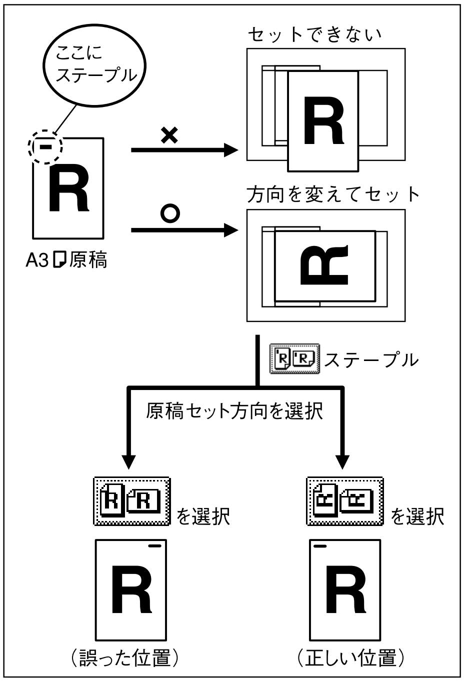
制限

- ❒ 修正液やインクなどが完全に乾いていない原稿はセットしないでください。原稿ガラスが汚れ、その汚れがコピーされます。

補足

- ❒ 原稿のセット方向によっては、思いどおりにコピーされない機能があります。各機能の説明を参照してください。
- ❒ 原稿を持って、自分に対して文字や絵が真っすぐになっている状態が、文字や絵が横になっている状態がです。
- ❒ A3、B4などセット方向を変えなければ本機で読み取れない原稿でステープルやパンチを行うとき、原稿セット方向を選択すると正しくパンチ、ステープル、両面コピーや集約コピーを行うことができます。

例）A3にステープルしたいとき



GCGSET2J

- ❒「自動用紙選択」または「用紙指定変倍」と組み合わせることをお勧めします。

参照

⇒ P.17 「原稿セット方向」

原稿ガラスへのセット

1 原稿カバー／自動原稿送り装置 (ADF) を上げます。

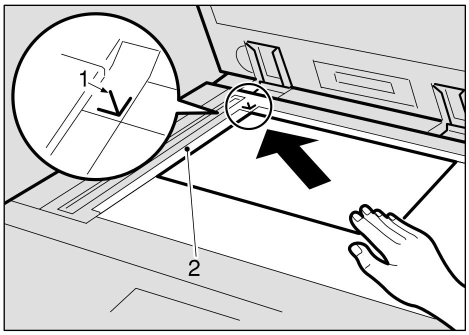
重要

- ❒ 原稿カバー／自動原稿送り装置(ADF)は、強く跳ね上げないようにしてください。自動原稿送り装置 (ADF) のカバーが開いたり破損することがあります。

補足

- ❒ 原稿カバー／自動原稿送り装置(ADF)の開閉で原稿サイズが読み取られます。30°以上の角度で確実に開いてください。

2 コピーしたい面を下にし、左スケールに原稿を合わせてセットします。



ZDSH051J

1. **セット基準**
2. **左スケール**

補足

- ❒ 原稿は先頭ページから順にセットします。
- ❒ スケールにある [F] の表示は海外で使われている用紙のサイズです。

3 原稿カバー／自動原稿送り装置 (ADF) を閉めます。

1

自動原稿送り装置(ADF)への原稿のセット

補足

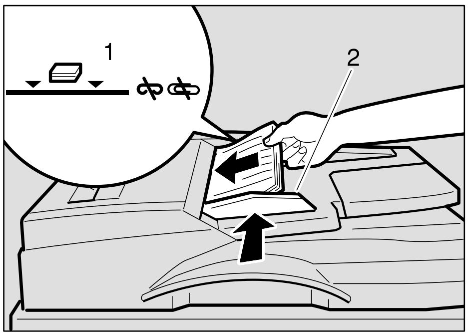
- ❒ 先頭ページが一番上になるようにセットします。
- ❒ 自動原稿送り装置 (ADF) のサイドフェンスに表示してある上限表示を超えないようにセットしてください。
- ❒ こするとかすれやすい原稿(鉛筆などで書かれた原稿)をセットすると原稿が汚れることがあります。

参照

セットできる原稿サイズについては、使用説明書「コピー機能 応用編」「原稿について」を参照してください。

1 **原稿ガイドを原稿サイズに合わせます。**

2 **コピーしたい面を上にし、原稿をそろえて自動原稿送り装置 (ADF) にセットします。**



ZDSH060J

1. **上限表示**
2. **原稿ガイド**

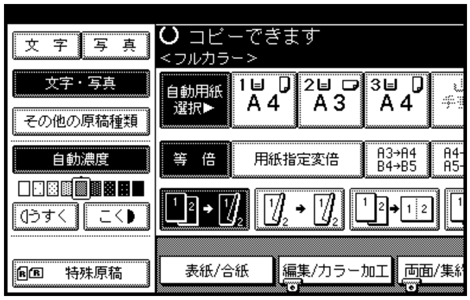
補足

- ❒ カールの大きい原稿は、矯正してからセットしてください。
- ❒ 複数枚の原稿が重なったまま一度に送られないように原稿をパラパラとほぐしてからセットしてください。

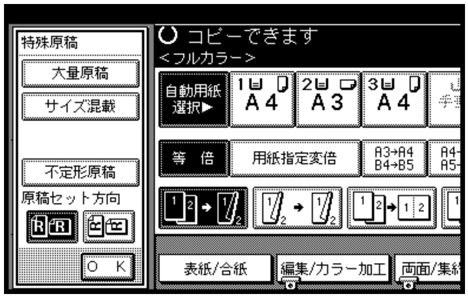
原稿セット方向

A3、B4などセット方向を変えなければ本機で読み取れない原稿でステープルやパンチを行うとき、正しくパンチ、ステープル、両面コピーや集約コピーを行うことができます。

1 **[特殊原稿] を押します。**



2 **原稿セット方向を選択します。**



3 **[OK] を押します。**

大量原稿機能

自動原稿送り装置 (ADF) にセットできる原稿枚数は、80枚(リコピー PPC用紙タイプ6000のとき)です。

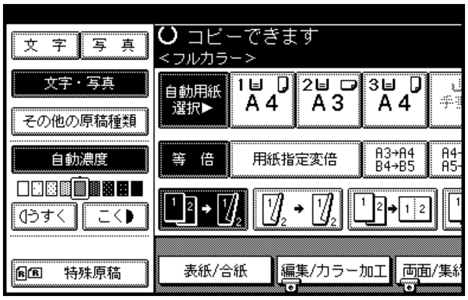
重要

- ❒ トレーシングペーパー(第二原図用紙)など特殊な原稿をセットするときは1枚ずつセットしてください。

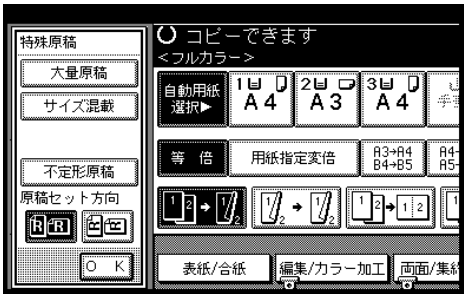
補足

- ❒ 自動原稿送り装置 (ADF) 装着時のみ有効です。
- ❒ 大量原稿機能では、カラーA3片面で100枚以上、両面で50枚以上の原稿を読み取らせることができます。カラーや用紙のサイズにより、最大読み取り枚数は変わります。
- ❒ ［大量原稿］を［SADF］に変更することができます。⇒使用説明書「コピー機能 応用編」「大量原稿モード切り替え」

1 **［特殊原稿］を押します。**



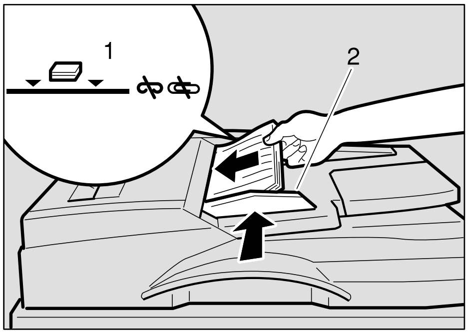
2 **［大量原稿］キーを押します。**



3 **［OK］を押します。**

4 **原稿をセットし、【スタート】キーを押します。**

5 **先にセットした原稿がすべて送られてから、次の原稿をセットします。**



ZDSH060J

1. **上限表示**
2. **原稿ガイド**

補足

- ❒ ソート、集約や片面→両面などの機能を設定しているときは、すべての原稿の読み取りが終わったら【#】キーを押してください。

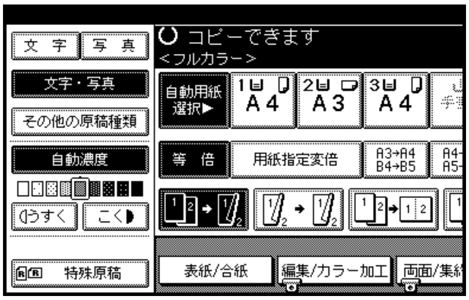
SADF機能

SADF機能を使うと、自動原稿送り装置(ADF)に原稿を1枚ずつセットしたときでも、原稿をセットするたびに自動的に原稿が送られます。

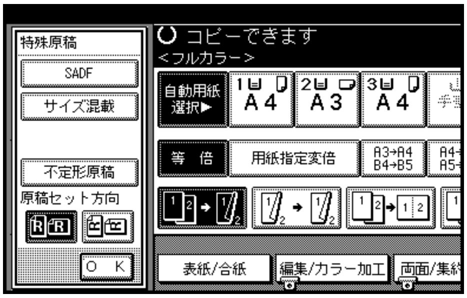
補足

- ❒ 自動原稿送り装置 (ADF) 装着時のみ有効です。
- ❒ SADF機能を使うには、「大量原稿モード切り替え」を「SADF」に設定しておくことが必要です。⇒使用説明書「コピー機能 応用編」「大量原稿モード切り替え」

1 **［特殊原稿］を押します。**



2 [SADF] を押します。



3 [OK] を押します。

4 **原稿を1枚セットし【スタート】キーを押します。**

5 **画面に"追加する原稿をセットしてください"というメッセージが表示されているときに次の原稿をセットします。**

補足

- ❒ **【スタート】**キーを押さなくても自動的に原稿が送られます。
- ❒ メッセージが表示されている時間を変更することができます。⇒ 使用説明書「コピー機能　応用編」「SADFオートリセット時間設定」
- ❒ ソート、集約や片面→両面などの機能を設定しているときは、すべての原稿の読み取りが終わったら**【#】**キーを押してください。

サイズ混載機能

異なるサイズの原稿を自動原稿送り装置 (ADF) に一度にセットしたときに、原稿サイズを自動的に読み取ってコピーします。

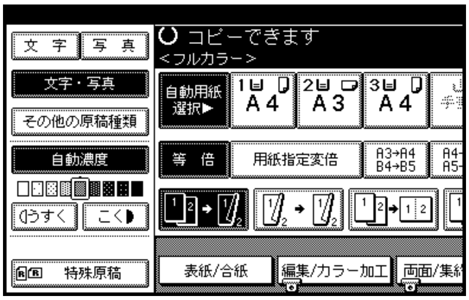
制限

- ❒ サイズ混載機能を設定しないで、異なるサイズの原稿を自動原稿送り装置 (ADF) にセットしコピーすると、用紙がつまったり、画像の一部がコピーされないことがあります。
- ❒ セットできる原稿の紙厚は52〜81g/m^2（45〜70kg）です。
- ❒ セットできる原稿サイズは　A3◻、B4◻、A4◻◻、B5◻◻、A5◻◻です。
- ❒ 小さい原稿サイズに原稿ガイドを合わせることができないため、やや斜めにコピーされることがあります。
- ❒ コピースピードまたは読み取り速度は遅くなります。

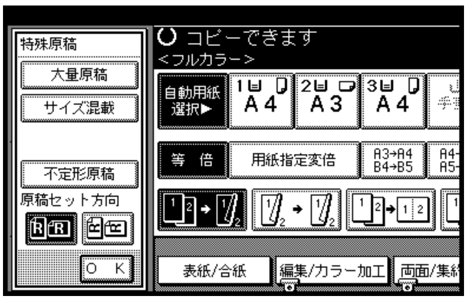
補足

- ❒ 自動原稿送り装置 (ADF) 装着時のみ有効です。

1 [特殊原稿] を押します。

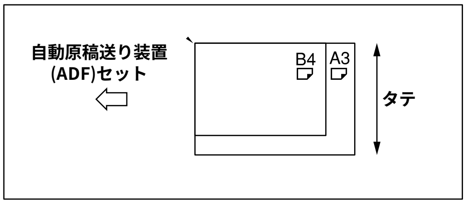


2 [サイズ混載] を押します。



3 [OK] を押します。

4 自動原稿送り装置 (ADF) に対して原稿の左側と奥の2辺をそろえます。



5 原稿ガイドを大きい原稿サイズに合わせます。

6 コピーしたい面を上にし、原稿を自動原稿送り装置(ADF)にセットします。

7 【スタート】キーを押します。

補足

- ❒ ソート、集約や片面→両面などの機能を設定しているときは、すべての原稿の読み取りが終わったら【#】キーを押してください。

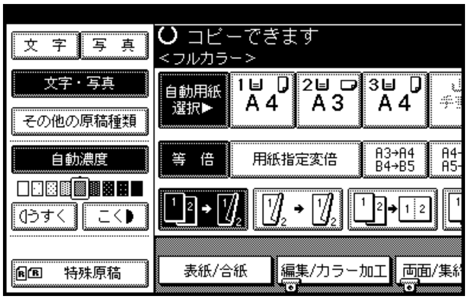
不定形原稿

不定形サイズの原稿をセットするときに、原稿のサイズを設定します。

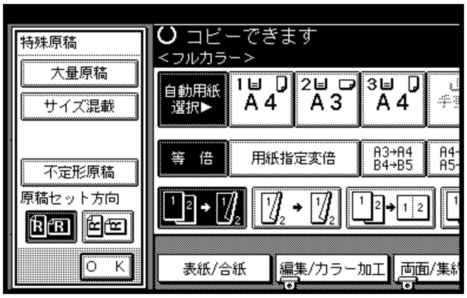
制限

- ❒ セットできる原稿のサイズはタテ128〜297mm、ヨコ128〜432mmです。

1 [特殊原稿] を押します。



2 [不定形原稿] を押します。



3 [ヨコ] の寸法をテンキーで入力し、[#] を押します。



補足

- ❒ 入力できる長さは128〜432mmです。
- ❒ 間違えたときは［クリア］または【クリア／ストップ】キーを押して入力し直します。

4 [タテ] の寸法をテンキーで入力し、[#] を押します。



補足

- ❒ 入力できる長さは128〜297mmです。

5 [OK] を押します。

6 原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

基本機能

基本機能には次の種類があります。

❖ **カラー選択**
コピーする色を選択します。

❖ **コピー濃度調整**
コピーの濃度を調整します。

❖ **原稿種類選択**
原稿の種類を選択します。

❖ **用紙選択**
コピーする用紙を選択します。

補足

❒ 電源を入れた直後、予熱が解除されたときやオートクリアされたときに設定される機能を選択できます。

❒ 基本機能の初期設定値を変更することができます。

参照

⇒使用説明書「コピー機能 応用編」「コピー初期設定の項目」

カラー選択

原稿の種類やコピーの使用目的に合わせて、コピーする色を選択します。

補足

❒ 単色コピー、2色コピーを選択したとき、カラー感光体および現像剤はフルカラーコピー時と同様に全色消耗します。ただし、トナーは選択色の成分のみ消耗します。

フルカラーコピー

イエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの4色を重ねてコピーします。

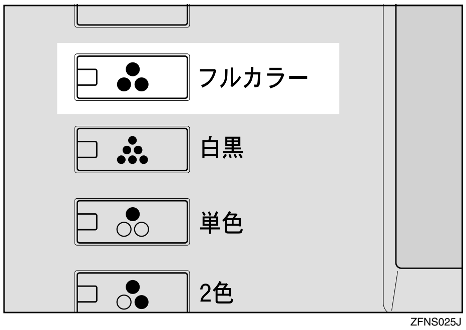
補足

❒ コピー全体の色味や特定の色の調整ができます。

参照

⇒使用説明書「コピー機能 応用編」「カラー調整」、「カラーバランス調整」

1 **【フルカラー】キーを押します。**



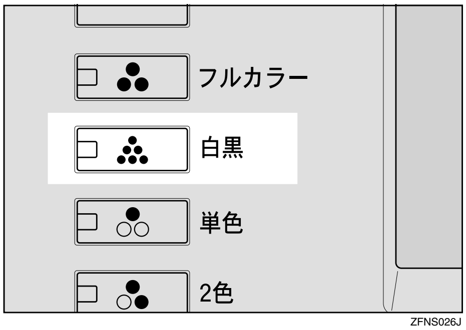
補足

❒ 他の機能を設定しないときは**【スタート】**キーを押し、コピーを始めます。

白黒コピー

原稿の色に関係なくブラック 1 色でコピーします。

1 **【白黒】キーを押します。**



補足

❒ 他の機能を設定しないときは**【スタート】**キーを押し、コピーを始めます。

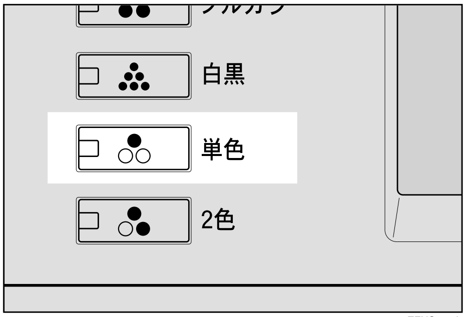
単色コピー

指定した1色でコピーします。

補足

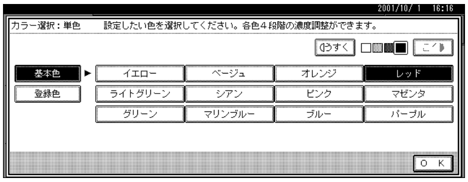
❒ 同じ単色でもイエロー、マゼンタ、シアンは1色のトナーでコピーされますが、ベージュ、オレンジ、レッド、ライトグリーン、ピンク、グリーン、マリンブルー、ブルー、パープルは2色のトナーを使ってコピーされます。

1 **【単色】キーを押します。**



ZFNS027J

2 **色を選択します。**



補足

❒ 各色は4段階の濃度の調整ができます。

❒ 登録色以外の12色から選ぶときは、［基本色］が反転していることを確認します。

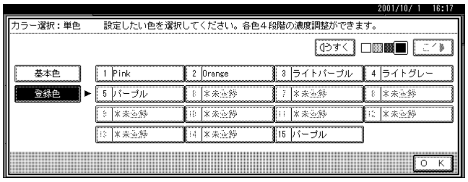
登録色から選択するとき

補足

❒ 登録色でコピーしたときは、カラー登録時に出力したサンプルよりも多少薄くコピーされます。

❶ **［登録色］を押します。**

❷ **登録されている色の中から色を選択します。**



3 **［うすく］または［こく］を押して濃度を調整できます。**

4 **［OK］を押します。**

補足

❒ 他の機能を設定しないときは**【スタート】**キーを押し、コピーを始めます。

2色コピー

2色コピーには次の種類があります。

❖ **2色コピー**

指定した2色の色でコピーします。

補足

❒ 基本色、登録色から選べます。

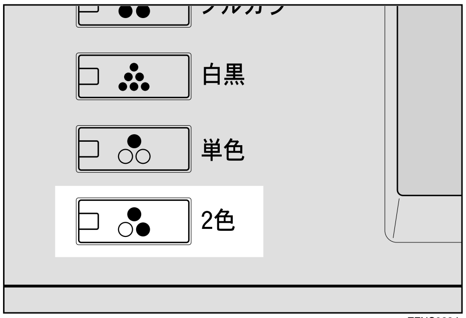
❖ **2色コピー（黒・赤）**

原稿内の赤色部分を赤、その他の部分を白黒でコピーします。

2色コピー

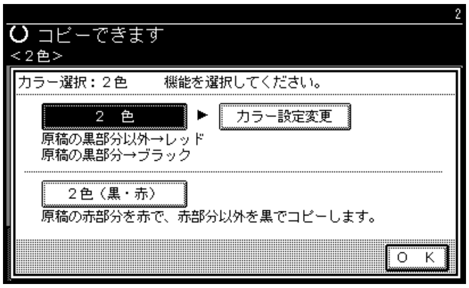
指定した2色の色でコピーします。

1 **【2色】キーを押します。**



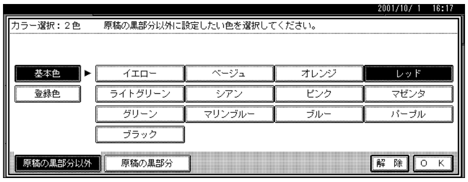
ZFNS028J

2 ［2色］を押します。



3 ［カラー設定変更］を押します。

4 ［原稿の黒部分］を押し、原稿の黒色に置き換えたい色を選択します。



補足

- ❒「登録色」を選択するときは、［登録色］を押した後、登録されている色からさらに色を選択します。

5 ［原稿の黒部分以外］を押し、原稿の黒以外の色に置き換えたい色を選択します。

6 ［OK］を押します。

補足

- ❒ 他の機能を設定しないときは**【スタート】**キーを押し、コピーを始めます。

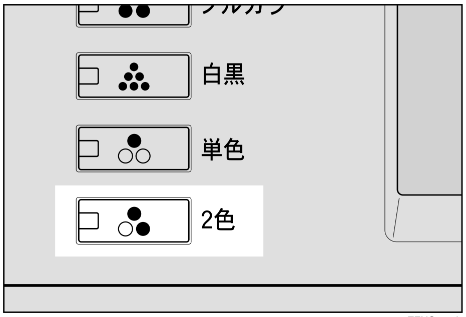
2色コピー（黒・赤）

原稿内の赤色部分を赤、その他の部分を白黒でコピーします。

補足

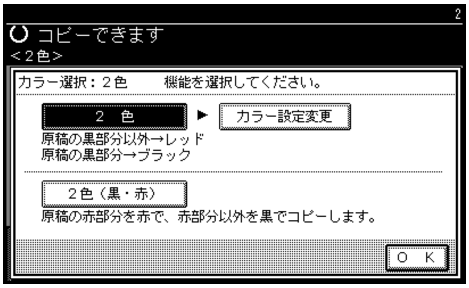
- ❒ 色の幅を「ひろく」設定していると、オレンジや紫に近い色まで赤と認識してしまいます。この調整は、「指定色消去」のときにも有効となります。　⇒使用説明書「コピー機能応用編」「カラー幅調整」

1 【2色】キーを押します。



ZFNS028J

2 ［2色（黒・赤）］を押します。



3 ［OK］を押します。

補足

- ❒ 他の機能を設定しないときは**【スタート】**キーを押し、コピーを始めます。

コピー濃度調整

コピーの濃度を調整します。

コピー濃度調整には次の3種類があります。

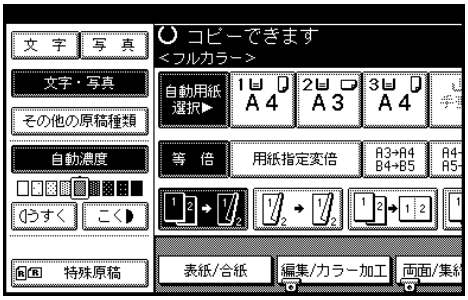
❖ **自動濃度**
原稿の濃度を読み取り、自動的に適切な濃度に調整します。新聞や再生紙など地肌の濃い原稿の地肌が出ないようコピーします。

❖ **濃度調整**
原稿全体の濃度を9段階で調整します。

❖ **組み合わせ濃度調整**
地肌が濃い原稿のとき、画像の濃度だけを調整します。

自動濃度を選択する

1 **「自動濃度」が選択されていることを確認します。**



補足

❐「自動濃度」が選択されていないときは［自動濃度］を押します。

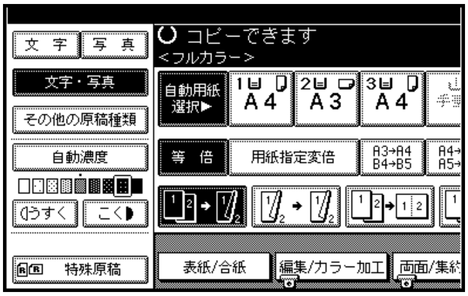
❐ 他の機能を設定しないときは**【スタート】**キーを押し、コピーを始めます。

濃度を調整する

1 **「自動濃度」が選択されているときは［自動濃度］を押して、設定を取り消します。**

2 **［うすく］［こく］を押して、濃度を調整します。**

濃度表示「□」が移動します。



補足

❐ 他の機能を設定しないときは**【スタート】**キーを押し、コピーを始めます。

組み合わせて濃度を調整する

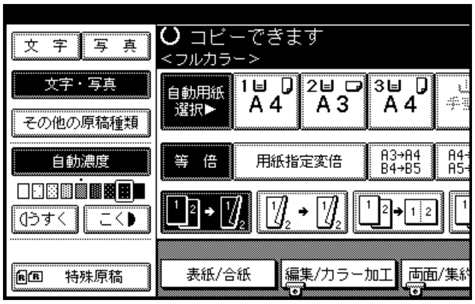
1 **「自動濃度」が選択されていることを確認します。**

補足

❐「自動濃度」が選択されていないときは［自動濃度］を押します。

2 **［うすく］［こく］を押して、濃度を調整します。**

濃度表示「□」が移動します。



補足

❐ 他の機能を設定しないときは**【スタート】**キーを押し、コピーを始めます。

原稿種類選択

原稿に合った画像の種類を選択します。

原稿種類選択には次の6種類があります。

❖ **文字**

文字が主体の原稿に適した設定で読み取ります。

❖ **文字・写真**

写真や絵画と文字が混じった原稿に適した設定で読み取ります。

❖ **写真**

写真や絵画原稿に適した設定で読み取ります。

補足

❒「文字・写真」「写真」を選択したときは、写真の種類を次の 3 つのうちから選択します。

- 印画紙写真
- 印刷写真
- 複写写真

❖ **地図**

地図原稿に適した設定で読み取ります。「原稿種類省略表示」(コピー／ドキュメントボックス初期設定)が「しない」に設定されているときは、「その他の原稿種類」から選択します。

❖ **淡い原稿**

鉛筆書きの原稿や複写伝票の控えなどの濃度の薄い原稿に適した設定で読み取ります。とぎれやすい細い線をきれいにコピーします。

❖ **複写原稿**

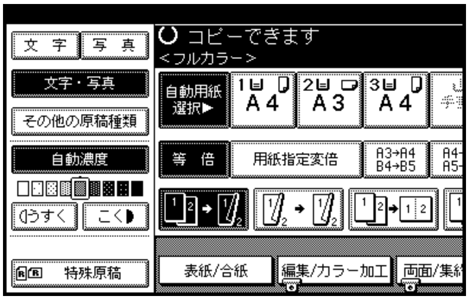
繰り返しコピーした原稿に適した設定で読み取ります。文字の太りやつぶれを抑えてきれいにコピーします。

補足

❒ 原稿種類キーを表示することを省くことができます。⇒使用説明書「コピー機能 応用編」「原稿種類省略表示」

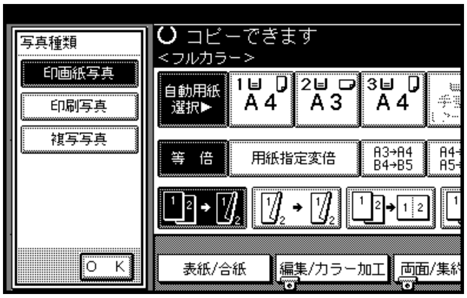
❒ 原稿種類ごとに画質を調整することができます。⇒使用説明書「コピー機能 応用編」「画質調整」

1 **原稿の種類を選択します。**



写真、文字・写真を選択したとき

1 **写真の種類を選択します。**



補足

❒ 優先して設定される写真の種類を設定することができます。⇒使用説明書「コピー機能 応用編」「優先写真原稿種類」

2 **[OK] を押します。**

補足

❒ 他の機能を設定しないときは**【スタート】**キーを押し、コピーを始めます。

地図、淡い原稿、複写原稿を選択するとき

1 **[その他の原稿種類] を押します。**

2 **原稿の種類を選択します。**

3 **[OK] を押します。**

補足

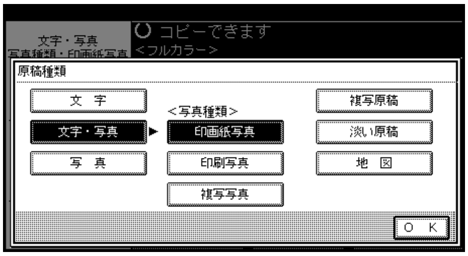
❒ 他の機能を設定しないときは**【スタート】**キーを押し、コピーを始めます。

原稿種類を省略表示しているとき

1 **［原稿種類］を押します。**



2 **原稿の種類を選択します。**



補足

- ❒ 写真、文字・写真を選択したときは、写真種類も選択します。

3 **［OK］を押します。**

補足

- ❒ 他の機能を設定しないときは**【スタート】**キーを押し、コピーを始めます。

用紙選択

コピーする用紙を選択します。

用紙選択には次の2種類があります。

❖ **自動用紙選択**

セットされた原稿のサイズを読み取り、自動的に倍率に合った用紙を選択します。⇒P.27「回転コピー」

❖ **用紙選択**

コピーしたい用紙を、給紙トレイ、手差しトレイまたは給紙テーブルの中から選択します。

制限

- ❒ 「用紙種類設定」の「用紙種類」を「表示なし」または「再生紙」を設定し、「自動用紙選択の対象」を「対象」に設定した給紙トレイのみ、自動用紙選択の対象になります。⇒使用説明書「システム設定編2　スキャナーユニット　タイプ8100対応版」「用紙種類設定：トレイ1～4」
- ❒ すべての給紙トレイを「設定なし」または「再生紙」以外の表示設定にすると、自動用紙選択機能が使用できなくなります。

補足

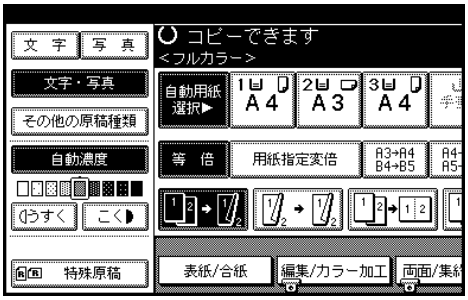
- ❒ 自動用紙選択できる用紙サイズ、方向は次のとおりです。

原稿 セット先	用紙サイズ、方向
原稿ガラス	A3、B4、A4、B5
自動原稿送り装置(ADF)	A3、B4、A4、B5、A5、11×17、Letter (8 1/2×11)

- ❒ 用紙が正しく選択されない原稿があります。⇒使用説明書「コピー機能 応用編」「サイズを読み取りにくい原稿」
- ❒ 再生紙などの特殊な用紙をセットしたときに、用紙の種類を表示させることができます。⇒使用説明書「システム設定編2 スキャナーユニット　タイプ8100対応版」「用紙種類設定：トレイ1～4」、「用紙種類設定：手差しトレイ」

自動用紙選択する

1 「自動用紙選択」が選択されていることを確認します。



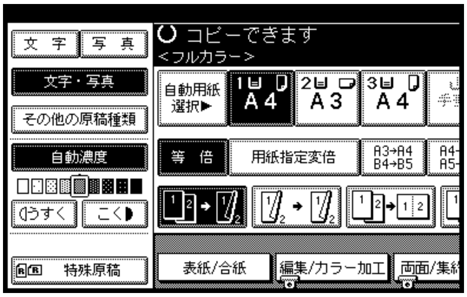
補足

- ❒「自動用紙選択」が選択されていないときは［自動用紙選択］を押します。
- ❒ 他の機能を設定しないときは**【スタート】**キーを押し、コピーを始めます。
- ❒ カギマークの付いているトレイは自動的に選択されません。

用紙を選択する

1 用紙を給紙トレイ、手差しトレイまたは給紙テーブルから選択します。

選択された給紙トレイの表示が反転表示されます。



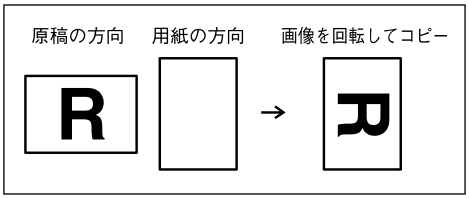
補足

- ❒「用紙種類省略表示」(コピー初期設定)が「する」に設定されているときは［自動用紙選択］を押します。⇒使用説明書「コピー機能 応用編」「用紙種類省略表示」
- ❒ 他の機能を設定しないときは**【スタート】**キーを押し、コピーを始めます。

回転コピー

セットした原稿と、給紙トレイにセットされている用紙の ▯▭ 方向が違うときでも、用紙の方向に合わせて自動的に画像を 90° 回転してコピーします。

自動用紙選択または用紙指定変倍を選択しているときに、はたらく機能です。⇒ P.27「自動用紙選択する」、P.37「用紙指定変倍」



GCROTA0J

制限

- ❒「リミットレス給紙」は、工場出荷時に「回転可能で動作する（回転可能）」になっています。「回転可能で動作する（回転不可）」または「しない」に変更すると、回転コピーはできません。⇒使用説明書「コピー機能 応用編」「基本コピー設定1/5」
- ❒ B4 または A3 サイズの用紙へ拡大するとき、回転コピーはできません。B4またはA3サイズの用紙に拡大したいときは原稿を ▭ 方向にセットしてください。

	原稿			用紙	
回転できない例	A4 または B5 または A5	R	拡大 →	正しく拡大コピーできません	
↓ こんなときは原稿方向を変えます	A4 または B5 または A5	R	拡大 →	B4 または A3	R

- ❒ フィニッシャーでは、ステープルの「奥斜め」または「左2ヵ所」「上2ヵ所」「パンチ」「表紙」や「合紙」を選択したときは回転コピーできない場合があります。⇒ P.41「ステープル」、P.44「パンチ」、使用説明書「コピー機能 応用編」「表紙」、「合紙」

1

手差しコピー

給紙トレイにセットできないサイズの用紙のほかに、はがきなどの厚紙、OHPフィルム、ハクリ紙などにコピーします。

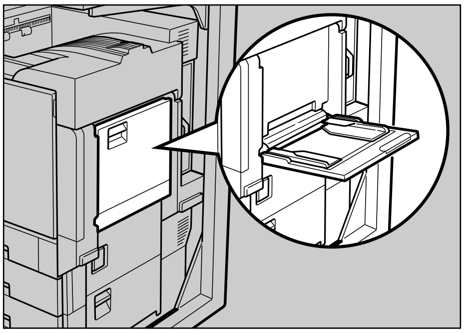
操作の前に

工場出荷時、[片面→両面]が選択されています。手差しコピーをするときは、[両面/集約/分割]の[片面→片面]を設定してください。

補足

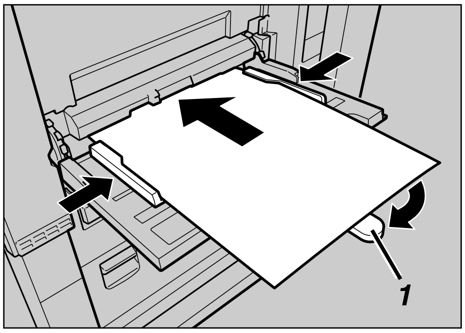
- 手差しコピーできる用紙サイズはタテ90〜305mm、ヨコ148〜458mmです。
- 433mm以上の用紙を使用するときは、まっすぐ送られるようにセットしてください。
- 433mm以上の用紙を使用すると、しわができたり、用紙が送られなかったり、紙づまりを起こす原因となることがあります。用紙をまっすぐにセットしてください。
- 手差しコピーのときサイズが読み取られる定形サイズ用紙はA3□、B4□、A4□、B5□、A5□、B6□、官製はがき□です。
- 手差しコピーのときサイズが読み取られる定形サイズ以外の用紙をセットするときは、必ずサイズを指定してください。⇒P.31「不定形サイズの用紙にコピーする」
- OHPフィルムや厚紙で128g/m² (約110kg)を超える用紙にコピーするときは、「特殊用紙設定」で用紙の種類を設定してください。⇒P.30「OHPフィルム、厚紙にコピーする」
- 手差しトレイにセットできる枚数は用紙の種類によって異なります。用紙の量が上限表示を超えないようにしてください。
- 手差しコピーのとき、フィニッシャーに排紙することはできません。

1 手差しトレイを開きます。



ZFNH020J

2 用紙ガイド板を用紙サイズに合わせます。



ZFNH030J

1. **用紙支持板**

重要

- 用紙ガイド板が用紙サイズに合っていないと、斜めにコピーされたり、用紙がつまる原因になります。

3 コピーしたい面を上にし、"ピッ"というブザー音が鳴るまで用紙を軽く差し込みます。

画面の▤が自動的に選択されます。

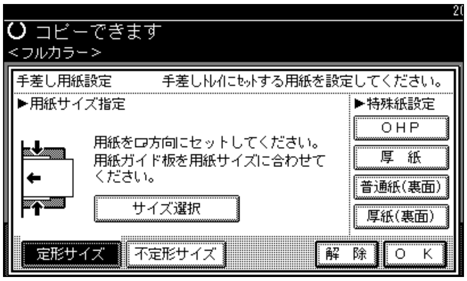
補足

- 上限表示を超えないようにセットしてください。上限表示より上に用紙を積み重ねると、斜めにコピーされたり、用紙がつまったりする原因となります。
- 「ブザー音」を「Off」にしたときは"ピッ"というブザー音が鳴りません。用紙を軽く差し込んでください。
- A4□ よりも大きなサイズの用紙をセットするときは、用紙支持板を引き出します。
- 複数枚の用紙が重なったまま一度に送られないように、用紙をパラパラとほぐしてからセットしてください。

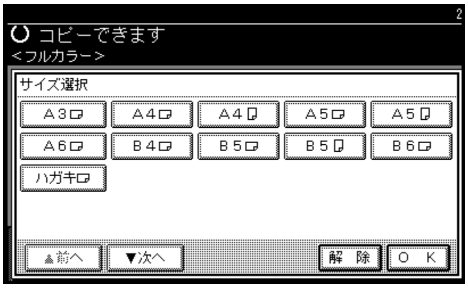
定形サイズの用紙にコピーするとき

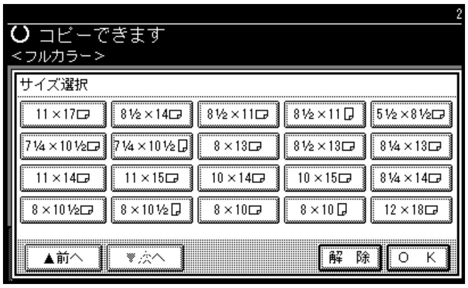
❶【#】キーを押します。

❷ ［サイズ選択］を押します。



❸ 用紙のサイズを選択し、[OK] を押します。





補足

❒ 選択できる用紙サイズは次のとおりです。

- A3▭、A4▯▭、A5▯▭、A6▭、B4▭、B5▯▭、B6▭、ハガキ▭、11 × 17▭、Legal($8^{1}/_{2}$ × 14)▭、Letter($8^{1}/_{2}$×11)▯▭、$5^{1}/_{2}$×$8^{1}/_{2}$▭、Executive($7^{1}/_{4}$ × $10^{1}/_{2}$)▯▭、8 × 13▭、$8^{1}/_{2}$ × 13▭、$8^{1}/_{4}$ × 13▭、11 × 14▭、11 × 15▭、10 × 14▭、10 × 15▭、$8^{1}/_{4}$×14▭、8×$10^{1}/_{2}$▯▭、8 × 10▯▭、12 × 18▭

❒ 12×18の用紙にコピーすると、用紙の中央に画像が移動してコピーされます。

4 原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

5 コピー終了後は【リセット】キーを押して、設定を解除します。

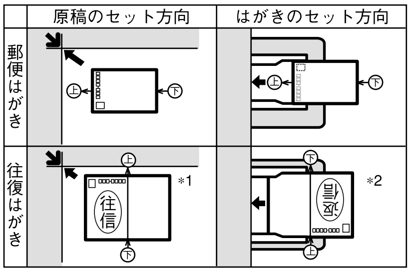
はがきにコピーする

はがきに宛先などをコピーするときは用紙の種類を選択します。

補足

❒ はがきをむだにしないためにも原稿とはがきの方向を確認してからセットしてください。

原稿とはがきのセット方向

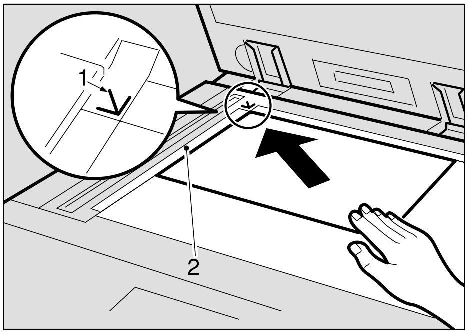


GDSH040J

*1 この図は位置を示すイメージ図です。

*2 往復はがきは折り目のないものを使用してください。

1 原稿ガラスに原稿をセットします。

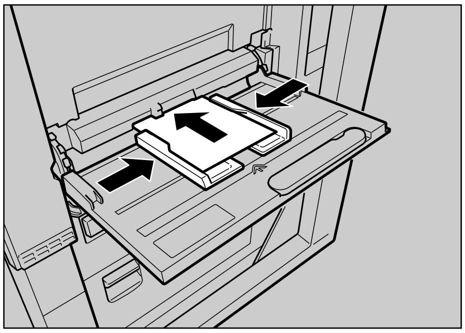


ZDSH051J

1. セット基準
2. 左スケール

1

2 手差しトレイを開け、用紙ガイド板をはがきのサイズに合せます。



ZFNH040J

3 コピーしたい面を上にし、"ピッ"というブザー音が鳴るまではがきを軽く差し込みます。

画面の が自動的に選択されます。

4 【#】キーを押します。

5 ［サイズ選択］を押します。

6 ［ハガキ］を押します。

7 ［OK］を押します。

8 特殊紙設定で用紙の種類（［厚紙］）を選択します。

9 ［OK］を押します。

10 【スタート】キーを押します。

11 コピー終了後は【リセット】キーを押して設定を解除します。

OHPフィルム、厚紙にコピーする

OHPフィルム、厚紙にコピーするときは、用紙の種類、サイズを設定します。⇒ P.28「定形サイズの用紙にコピーするとき」、P.31「不定形サイズの用紙にコピーする」

重要

❒ OHPフィルムは当社製品をお使いください。

補足

❒ OHPフィルム、厚紙にコピーするとき、コピーに約2分かかることがあります。

1 手差しトレイを開け、用紙ガイド板を用紙サイズに合わせます。

重要

❒ 用紙ガイド板が用紙サイズに合っていないと、斜めにコピーされたり、用紙がつまる原因になります。

2 コピーしたい面を上にし、"ピッ"というブザー音が鳴るまでOHPフィルムを軽く差し込みます。

重要

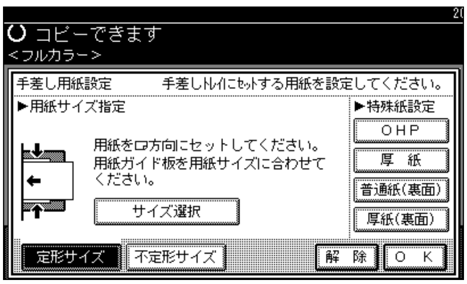
❒ OHPフィルムはコピー面が決まっています。カット部分に気をつけてセットしてください。

❒ 複数枚を一度にセットするときは、用紙づまりを防ぐために、パラパラとほぐしてからセットします。

3 【#】キーを押します。

手差し用紙設定の画面が表示されます。

4 特殊紙設定で用紙の種類（［OHP］または［厚紙］）を選択します。



5 **［OK］を押します。**

6 **原稿をセットし、【スタート】キーを押します。**

重要

❒ OHPフィルムにコピーするときは、出てきたコピーを1枚ずつ取り除いてください。

7 **コピー終了後は【リセット】キーを押して、設定を解除します。**

不定形サイズの用紙にコピーする

重要

❒ サイズを指定しないと用紙がつまることがあります。

補足

❒ タテ298mm以上、またはヨコ433mm以上を指定すると、用紙の中央に画像が移動してコピーされます。

1 **手差しトレイを開け、用紙ガイド板を用紙サイズに合わせます。**

重要

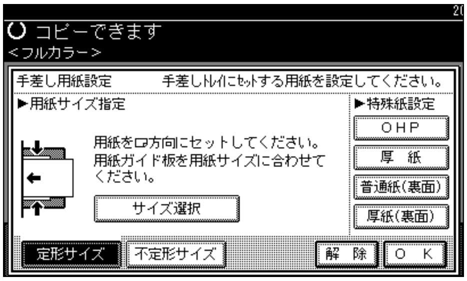
❒ 用紙ガイド板が用紙サイズに合っていないと、斜めにコピーされたり用紙がつまる原因になります。

2 **コピーしたい面を上にし、"ピッ"というブザー音が鳴るまで用紙を軽く差し込みます。**

画面の▤が自動的に選択されます。

3 **【#】キーを押します。**

4 **［不定形サイズ］を押します。**



5 **［タテ---mm］を選択し、テンキーで用紙のタテの長さを入力し、［#］を押します。**



補足

❒ 入力できる長さは90〜305mmです。

❒ 間違えたときは、［クリア］または**【クリア／ストップ】**キーを押して入力し直します。

6 **テンキーで用紙のヨコの長さを入力し、［#］キーを押します。**



補足

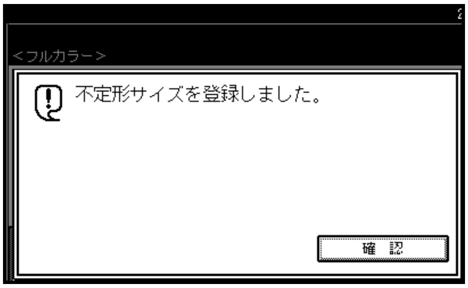
❒ 入力できる長さは148〜458mmです。

❒ ［ヨコ----mm］が黒く反転表示されていないときは、［ヨコ----mm］を押します。

❒ 間違えたときは、［クリア］または**【クリア／ストップ】**キーを押して入力し直します。

7 設定した不定形サイズを登録するときは、[登録] を押してから、確認画面で [確認] を押します。





補足

- 不定形サイズを登録しないときは手順8へ進みます。
- 登録できる不定形サイズは1つです。
- 登録した不定形サイズを呼び出すときは［呼出］を押します。
- 不定形サイズを登録しなかったとき、設定した不定形サイズは、コピー機能がリセットされると取り消されます。

8 [OK] を押します。

9 原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

裏面コピー

手差しコピーを使って、一度コピーした用紙の裏面にコピーします。

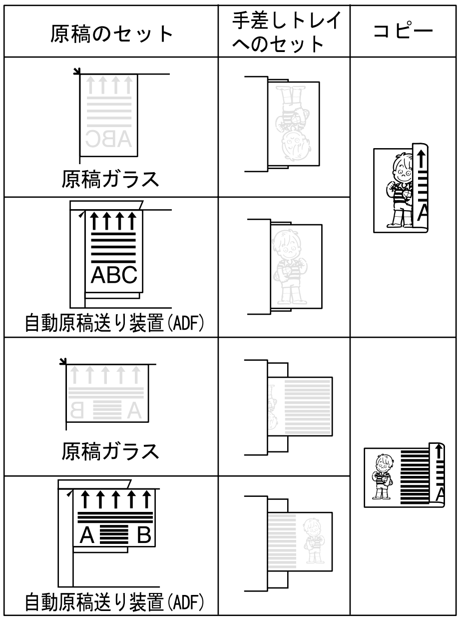
補足

- 他の機器で一度コピーした用紙は、使用しないでください。
- 裏面コピーは文字原稿など画像面積の少ないものを第1面（裏面）にコピーしてください。
- 用紙がそっているときはそりを直してからセットします。そりを直さないと紙づまりの原因になります。

原稿や用紙のセット方向とコピー

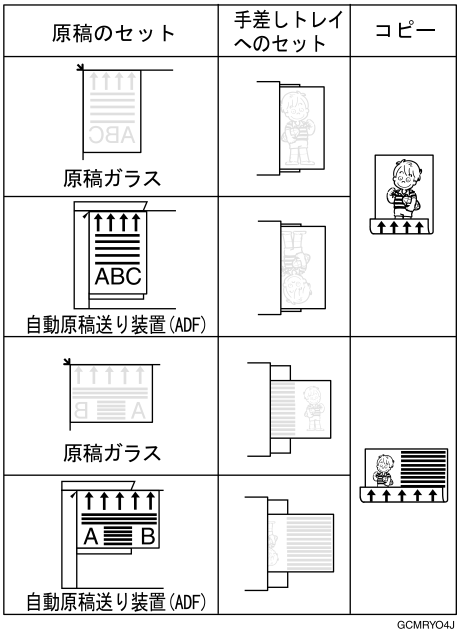
用紙と原稿のセット方向に気をつけてください。

❖ 左右ひらき



GCMRYO3J

❖ 上下ひらき



1 手差しトレイを開け、用紙ガイド板を用紙サイズに合わせます。

重要

- ❒ 用紙ガイド板が用紙サイズに合っていないと、斜めにコピーされたり、用紙がつまる原因になります。

2 コピーされている面を下（白紙面を上）にして“ピッ”というブザー音が鳴るまで用紙を軽く差し込みます。

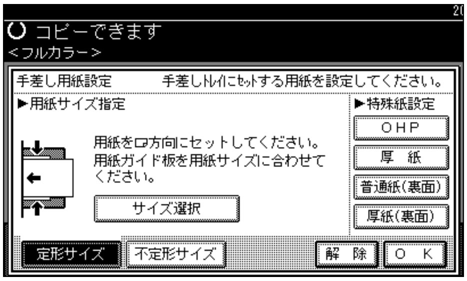
画面の が自動的に選択されます。

3 【#】キーを押します。

手差し用紙設定の画面が表示されます。

4 用紙のサイズを確認します。

5 特殊用紙設定で用紙の種類（[普通紙（裏面)] または [厚紙（裏面)]）を選択します。

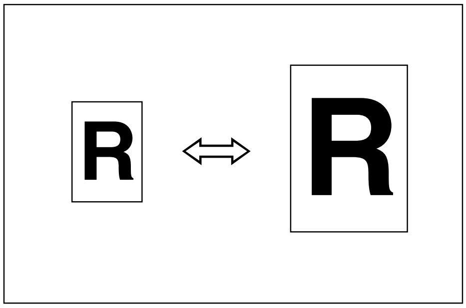


6 [OK] を押します。

7 原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

拡大／縮小

あらかじめ設定されている拡大／縮小率の中から倍率を選択してコピーします。



❖ **基点について**

拡大／縮小の基点は、原稿の読み取らせかたによって異なります。原稿ガラスにセットしたときは、左奥の「セット基準」に接するところが基点になります。自動原稿送り装置(ADF)にセットしたときは、原稿の左手前が基点になります。

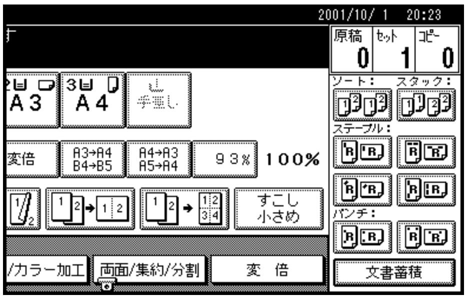
補足

- ❒ コピー初期画面内の登録機能キーに登録できる「すこし小さめ」を使用すると、93%縮小＋画像の中心を基準として縮小することができます。⇒ P.35 「「すこし小さめ」を使用する」
- ❒ 工場出荷時に登録されている倍率を、よく使う倍率に設定し直すこともできます。⇒使用説明書「コピー機能　応用編」「変倍率設定1/2」、「変倍率設定2/2」
- ❒ コピー初期画面内に3種類の倍率を設定して表示させることができます。⇒ 使用説明書「コピー機能 応用編」「基本画面倍率キー設定：１～3」
- ❒ ［変倍］を押したときに優先して表示される画面に「縮小」「拡大」「テンキーズーム」のどれを表示するか設定することができます。⇒使用説明書「コピー機能 応用編」「変倍タブ優先機能設定」
- ❒ 原稿や用紙サイズに関係なく倍率を選択できますが、設定や状態によっては画像が欠けたり、余白ができることがあります。
- ❒ 固定倍率と原稿、用紙サイズの関係は次のとおりです。

倍率（%）	原稿→用紙
400 （面積比16倍）	---
200 （面積比4倍）	A5→A3、A6→A4、B6→B4
141 （面積比2倍）	A4→A3、A5→A4、A6→A5、B5→B4、B6→B5
122	A4→B4、A5→B5、A6→B6
115	B4→A3、B5→A4、B6→A5
93	11×14 [*1] →B4
87	A3→B4、A4→B5、A5→B6
82	B4→A4、B5→A5、B6→A6
71 （面積比$^1/_2$倍）	A3→A4、A4→A5、A5→A6、B4→B5、B5→B6
61	A3→B5、A4→B6
50 （面積比$^1/_4$倍）	A3→A5、A4→A6、B4→B6
25	---

*1 **「11×14」はコンピューターの出力用紙**

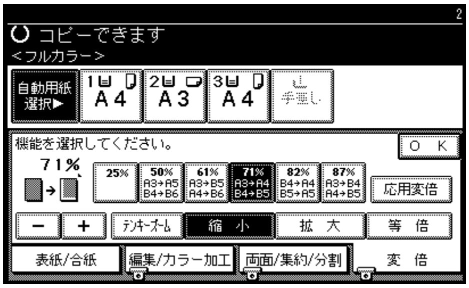
1 **［変倍］を押します。**



補足

- ❒ コピー初期画面内に表示されている倍率を選択するときは、直接そのキーを押して手順**5**へ進みます。

2 ［拡大］または［縮小］を押します。



3 倍率を選択します。

4 ［OK］を押します。

5 原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

「すこし小さめ」を使用する

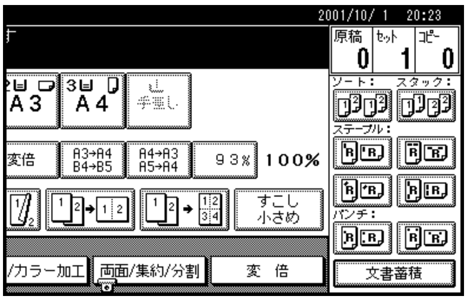
「すこし小さめ」を指定すると、93%縮小＋画像の中心を基準として縮小することができます。また、拡大／縮小と組み合わせることで、拡大／縮小コピーに対してさらに余白を付けることができます。

「すこし小さめ」を使うときは、まず登録機能キーに登録し画面に［すこし小さめ］を表示させてください。

補足

- ❒「すこし小さめ」の変倍率を変更することができます。⇒使用説明書「コピー機能 応用編」「すこし小さめ変倍率設定」

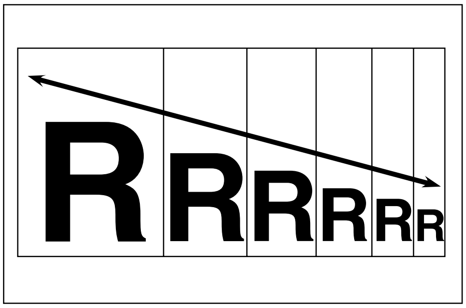
1 コピー初期画面内に表示されている［すこし小さめ］を押します。



2 拡大／縮小と組み合わせないときは原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

ズーム

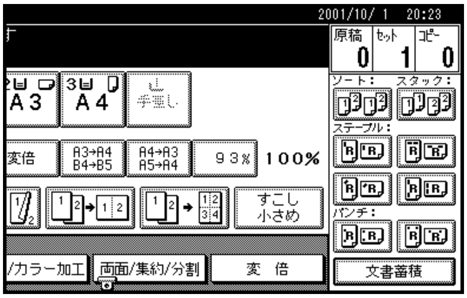
1%刻みに倍率を調整し、大きさを細かく指定して拡大／縮小コピーします。



補足

- ❒ 原稿や用紙サイズに関係なく倍率を指定できますが、設定や状態によっては画像が欠けたり、余白ができることがあります。
- ❒「拡大／縮小」などで近い倍率を選択してから［－］［＋］を押して調整することもできます。

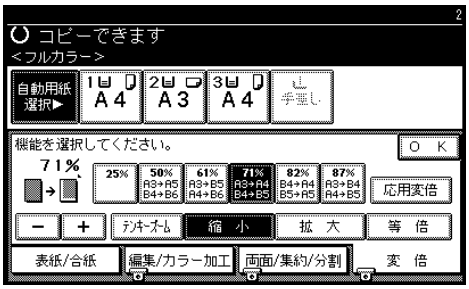
1 **［変倍］を押します。**



2 **倍率を指定します。**

［－］［＋］で指定するとき

❶ **［－］［＋］で倍率を指定します。**



補足

- ❒［－］または［＋］を押すと1%ずつ倍率が変わります。［－］または［＋］を押し続けると10%ずつ変わります。
- ❒ 間違えたときは［－］［＋］で指定し直します。

テンキーで指定するとき

❶ **［テンキーズーム］を押します。**

❷ **テンキーで倍率を入力します。**



補足

- ❒ 間違えたときは、［クリア］または**【クリア／ストップ】**キーを押して入力し直します。

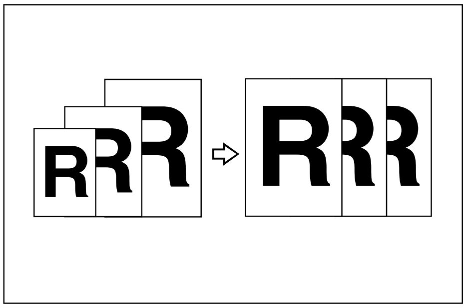
❸ **［#］を押し、倍率を確定します。**

❹ **［OK］を押します。**

3 **原稿をセットし、【スタート】キーを押します。**

用紙指定変倍

指定した用紙サイズに合わせて自動的に拡大／縮小してコピーします。



制限

- ❒ 手差しコピーはできません。

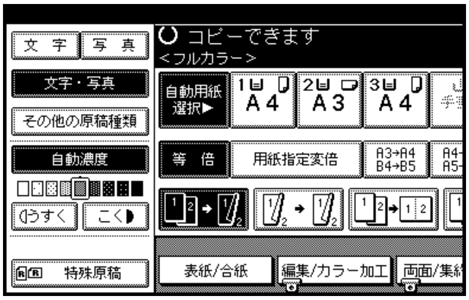
補足

- ❒ 用紙指定変倍できる原稿のサイズ、方向は次のとおりです。

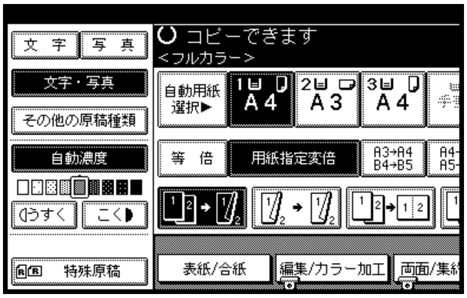
原稿 セット先	原稿サイズ、方向
原稿ガラス	A3□、B4□、A4□□、B5□□
自動原稿送り装置(ADF)	A3□、B4□、A4□□、B5□□、A5□□、11×15□、Letter($8^1/_2$×11)□

- ❒ 選択される倍率は25～400%です。
- ❒ 倍率が正しく選択されない原稿があります。⇒使用説明書「コピー機能 応用編」「サイズを読み取りにくい原稿」
- ❒ 異なるサイズの原稿を一度に自動原稿送り装置(ADF)にセットすることもできます。⇒P.19 「サイズ混載機能」
- ❒ B4またはA3サイズの用紙へ拡大するときは、回転コピーはできません。B4またはA3サイズの用紙に拡大したいときは原稿を□方向にセットしてください。

1 **［用紙指定変倍］を押します。**



2 **用紙を給紙トレイから選択します。**



補足

- ❒ 他の機能を設定しないときは**【スタート】**キーを押し、コピーを始めます。

1

1

ソート／スタック／ステープル

複数のページの原稿をメモリーに読み取り、コピーを自動的に仕分けます。

ソート／スタック／ステープルには次の種類があります。

❖ ソート（拡張HDD（40GB）が必要）

- ソート
- 回転ソート
- シフトソート（フィニッシャーが必要）

❖ スタック（フィニッシャーが必要）

❖ ステープル（フィニッシャー、拡張HDD（40GB）が必要）

補足

❒ 排紙トレイに重ねられるコピー枚数は次のとおりです。（リコピー PPC用紙タイプ6000のとき）コピー枚数が下表の枚数を超えるときはいったんコピーを取り除いてください。

排紙	用紙の枚数
本体トレイ	500枚
左上トレイ	100枚
サイド排紙トレイ	トレイ1：100枚 トレイ2：250枚
フィニッシャー	フィニッシャートレイ1 A4▯、8$^{1}/_{2}$×11▯、A5▯、B5▯▭：500枚 A3▭、A4▭、B4▭、11×17▭、8$^{1}/_{2}$×14▭、8$^{1}/_{2}$×11▭：250枚
	フィニッシャートレイ2 A4▯、8$^{1}/_{2}$×11▯：1,500枚（通常モード時に2000枚） A3▭、A4▭、B4▭、B5▯▭、11×17▭、8$^{1}/_{2}$×14▭、8$^{1}/_{2}$×11▭：750枚 A5▯：500枚
	ステープルトレイ A4、8$^{1}/_{2}$×11以下: 50枚 B4▭、8$^{1}/_{2}$×14以上: 30枚

回転ソート、パンチ、ステープル等の機能を選択したとき、収容枚数が少なくなることがあります。

ソート

コピーを1部ずつページ順にそろえます。

制限

❒ 手差しコピーはできません。

補足

❒ 拡張HDD（40GB）装着時のみ有効です。

❒ オプションのフィニッシャーを装着時はコピー初期画面に優先的に表示されるキーを「スタックキー機能切り替え」で切り替えることができます。⇒使用説明書「コピー機能応用編」「スタックキー機能切り替え」

❒ オプションのフィニッシャーを装着時は、自動的にシフトソートとなり排紙先の設定にかかわらずフィニッシャーに排紙されます。

❒ 回転ソートできる用紙サイズ、方向はA4▯▭、B5▯▭です。

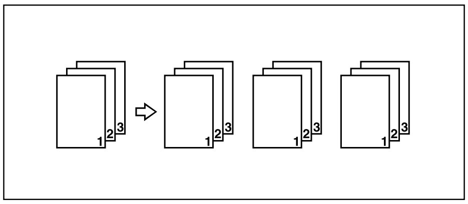
❒ 回転ソートを行うときは、同じサイズで異なる方向（▯▭）にセットされている給紙トレイが2段必要です。

参照

オプションのフィニッシャーを装着しているときの収容枚数について⇒使用説明書「システム設定編2　スキャナーユニット　タイプ8100対応版」「外部オプション」

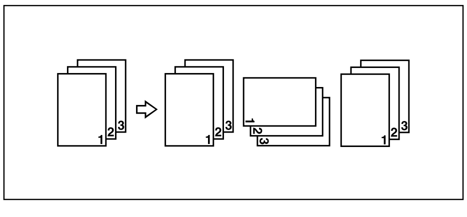
❖ ソート

コピーを1部ずつページ順にそろえます。



❖ 回転ソート

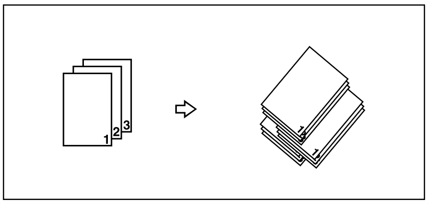
コピーを1部ずつ▯▭交互に向きを変えてそろえます。



1

❖ シフトソート

- 1セット（部）または各動作ごとのコピーが排出されるたびにフィニッシャーのフィニッシャートレイが前後に動き、次のコピーをずらして排出するので、部や動作の区切りがわかります。



補足

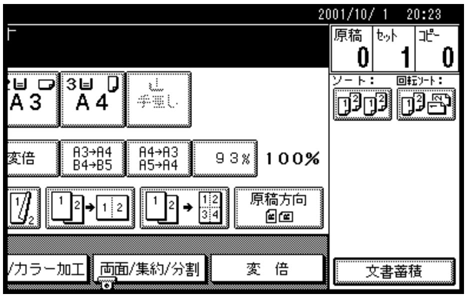
❒ フィニッシャー装着時のみ有効です。

❒ シフトソートできる用紙サイズ、方向は次のとおりです。

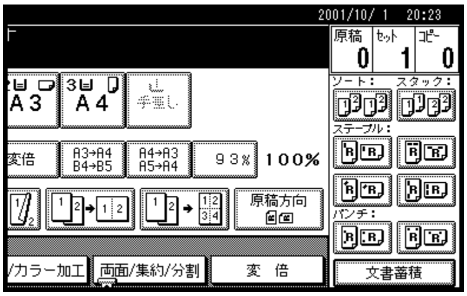
排紙先	用紙サイズ、方向
フィニッシャー	A3▭、B4▭、A4▯▭、B5▯▭、A5▯

1 **［ソート］または［回転ソート］を押します。**

❖ フィニッシャー未装着時



❖ フィニッシャー装着時



補足

❒ オプションのフィニッシャーを装着時は､「スタックキー機能切り替え」で切り替えると［回転ソート］を表示させることができます。⇒使用説明書「コピー機能 応用編」「スタックキー機能切り替え」

2 **テンキーでコピーする部数を入力します。**

制限

❒ 設定できるコピー部数は1〜99部です。

補足

❒ 間違えたときは、**【クリア／ストップ】**キーを押して入力し直します。

3 **原稿をセットし、【スタート】キーを押します。**

自動原稿送り装置(ADF)に複数枚の原稿をセットするとき

❶ **原稿をセットし､【スタート】キーを押します。**

補足

❒ 先頭ページが一番上になるようにセットします。

❒ ソート中に原稿がつまったときは、つまった原稿を取り除いたあと、画面の表示に従って原稿枚数を戻し、もう一度自動原稿送り装置 (ADF) にセットし直してください。

原稿ガラスまたは大量原稿機能で自動原稿送り装置(ADF)に原稿をセットするとき

❶ **原稿をセットし､【スタート】キーを押します。セットした原稿が読み取られます。**

補足

❒ 先頭ページから順にセットします。

❷ **次の原稿をセットします。セット後に【スタート】キーを押します。**

補足

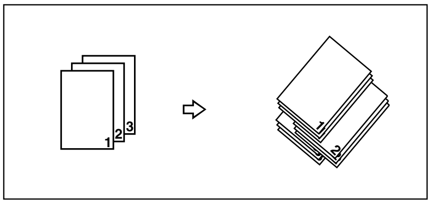
❒ 原稿は同じ方向にセットします。

❸ **すべての原稿の読み取りを終えたら、【#】キーを押します。**

スタック

コピーをそれぞれのページごとにそろえます。

ページごとコピーが排出されるたびフィニッシャーのフィニッシャートレイが前後に動き、次のコピーをずらして排出するので、ページごとの区切りがわかります。



制限

- ❒ 手差しコピーはできません。
- ❒ 厚紙および OHP フィルムにコピーするときはスタックできません。

補足

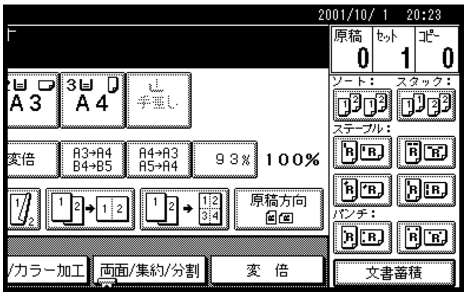
- ❒ フィニッシャー装着時のみ有効です。
- ❒ スタックできる用紙サイズ、方向は次のとおりです。

排紙先	用紙サイズ、方向
フィニッシャー	A3、B4、A4、B5、A5

参照

オプションのフィニッシャーを装着しているときの収容枚数について⇒使用説明書「システム設定編2　スキャナーユニット　タイプ8100対応版」「外部オプション」

1 **［スタック］を押します。**



2 **1枚の原稿を何枚ずつコピーするか、テンキーで入力します。**

補足

- ❒ 間違えたときは、**【クリア／ストップ】**キーを押して入力し直します。

3 **原稿をセットし、【スタート】キーを押します。**

自動原稿送り装置(ADF)に複数枚の原稿をセットするとき

❶ **原稿をセットし、【スタート】キーを押します。**

補足

- ❒ 先頭ページが一番上になるようにセットします。

原稿ガラスまたは大量原稿機能で自動原稿送り装置(ADF)に原稿をセットするとき

❶ **原稿をセットし、【スタート】キーを押します。**

セットした原稿が読み取られます。

補足

- ❒ 先頭ページから順にセットします。

❷ **次の原稿をセットし、【スタート】キーを押します。**

補足

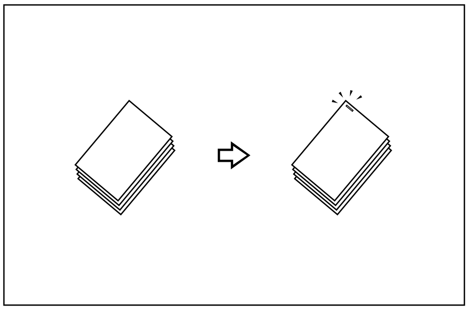
- ❒ 原稿は同じ方向にセットします。

❸ **すべての原稿の読み取りを終えたら【#】キーを押します。**

ステープル

この機能を利用するためには、フィニッシャーと拡張HDD（40GB）が必要です。

コピーを1部ずつステープラーでとじます。



制限

- 手差しコピーはできません。
- 次の用紙はステープルできません。
  - はがき
  - トレーシングペーパー（第二原図用紙）
  - OHPフィルム
  - ハクリ紙
  - カールした用紙
  - こしの弱い用紙
  - サイズが異なる用紙（A4▭とA3▭のようにタテの幅が異なる用紙）

補足

- 厚紙および OHP フィルムにコピーするときは、ステープルできません。
- コピー枚数が表の収容枚数を超えるとコピーが止まります。このときはいったんコピーを取り除いてからコピーを再開してください。

ステープルできる用紙サイズ	A3▭、B4▭、A4▯▭、B5▯▭、3Letter(8$^1/_2$×11)▯▭、8$^1/_2$×14▭、11×17▭
ステープル可能枚数 *1	A4▯▭、B5▯▭、Letter(8$^1/_2$×11)▯▭：50枚 A3▭、B4▭、8$^1/_2$×14▭、11×17▭：30枚 サイズ混載時：30枚
フィニッシャートレイ収容枚数（A4▭のとき）*1 *2	フィニッシャートレイ1：500枚，フィニッシャートレイ2：1,500枚（通常モード時：2,000枚）

*1 **『リコピー PPC用紙タイプ6000』のとき**

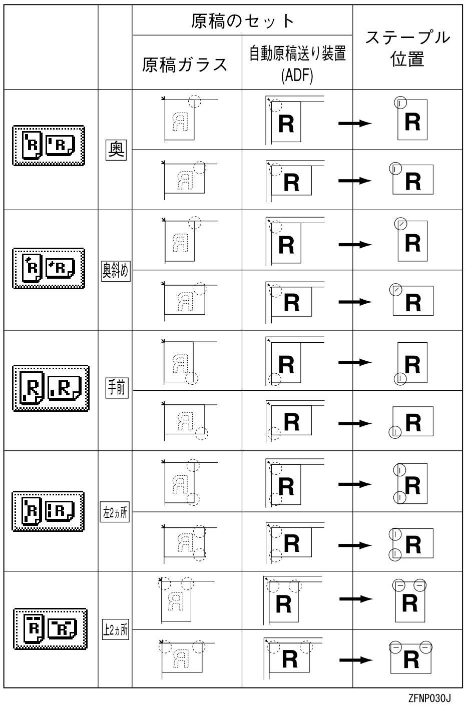
*2 **ステープル枚数により、収容枚数が少なくなることがあります。**

- 次のときはステープルされないで継続して排出されます。
  - 1部のコピー枚数がステープルできる枚数を超えたとき
  - コピー中にメモリーがいっぱいになったとき
- 集約の「片面→片面」「片面→両面」「両面→片面」「両面→両面」、ダブルコピーを組み合わせるとき、▯の原稿は▭の用紙、▭の原稿は▯の用紙を選択してください。
- サイズ混載機能と自動用紙選択を組み合わせて使うと、異なるサイズの原稿をセットしても適切な用紙を選択してステープルできます。給紙トレイには、使用するサイズをあらかじめセットしておいてください。サイズ混載でステープルできるサイズは次のとおりです。
  - A3▭とA4▯
  - B4▭とB5▯
  - 11×17▭とLetter(8$^1/_2$×11)▯

1

原稿のセット方向とステープルの位置

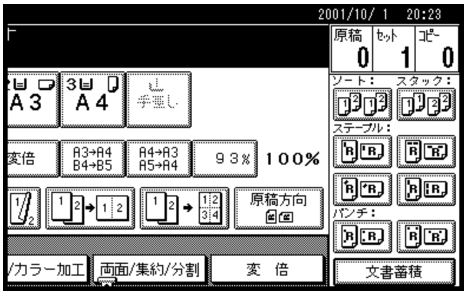
原稿は、すべて自分に対して文字や絵がまっすぐになっている状態にセットしてください。自動的に回転してコピーします。原稿と同じサイズ、方向の用紙がセットされているときの原稿のセット方向とステープルの位置は次のとおりです。



補足

- ❒ コピーの途中でステープル位置を変更することはできません。
- ❒ 画像が回転されるとステープルの向きが90°変わります。
- ❒ コピー初期画面に表示される「上2カ所」はコピー初期画面で「上2カ所」または「手前」のどちらかを選択して設定することができます。
- ❒ 集約の「片面2枚→片面1枚」「片面4枚→両面1枚」、ダブルコピーと組み合わせるとき、縦の原稿は横の用紙、横の原稿は縦の用紙を選択してください。
- ❒ 「奥斜め」「左2ヵ所」「上2ヵ所」と集約の「片面→片面」「片面→両面」「両面→片面」「両面→両面」、ダブルコピーを組み合わせるとき、縦の原稿は横の用紙、横の原稿は縦の用紙を選択してください。
- ❒ 「奥斜め」「左2ヵ所」「上2ヵ所」と集約、ダブルコピー、用紙指定変倍を組み合わせたとき、原稿と用紙の向きにより「余白ができます」のメッセージが表示されます。このようなときは、用紙の向きを変更してください。
- ❒ 回転される最大画像サイズはA4までです。
- ❒ 「奥斜め」「左2ヵ所」「上2ヵ所」を選択したときは、次の設定をすると適切な画像回転動作を行います。
  - 「用紙指定変倍」または「自動用紙選択」
  - コピー初期設定の「リミットレス給紙」を「回転可能で動作する（回転可能）」に設定

1 ステープルの位置を選択します。



補足

- ❒ ステープルの位置を選択すると、自動的に［ソート］も選択されます。

2 テンキーでコピーする部数を入力します。

補足

- ❒ 間違えたときは、**【クリア／ストップ】**キーを押して入力し直します。

3 原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

自動原稿送り装置(ADF)に複数枚の原稿をセットするとき

❶ 原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

補足

- ❒ 先頭ページが一番上になるようにセットします。

原稿ガラスまたはSADF機能で自動原稿送り装置(ADF)に原稿をセットするとき

❶ **原稿をセットし、【スタート】キーを押します。セットした原稿が読み取られます。**

補足

❒ 先頭ページから順にセットします。

❷ **次の原稿をセットします。原稿ガラスに原稿をセットしたときは【スタート】キーを押します。**

補足

❒ 原稿は同じ方向にセットします。

❸ **すべての原稿の読み取りを終えたら、【#】キーを押します。**

原稿の読み取りを中断したいとき

ソート、スタック、ステープル時はセットした原稿は読み取られ、メモリーに蓄積されます。

1 原稿の読み取り中に【クリア／ストップ】キーを押します。

読み取り中止の確認画面が表示されます。

原稿の読み取りを再開したいとき

❶ **［継続］を押します。**

読み取りが再開されます。

補足

❒ メモリー内の画像はクリアされません。

読み取った原稿の画像をクリアしたいとき

❶ **［中止］を押します。**

画像がクリアされ、読み取りが終了します。

メモリーがいっぱいになったとき

読み取られた原稿がメモリーに蓄積できる枚数を超えたときは読み取りが中断されます。

補足

❒ メモリーに蓄積できる原稿（画像）は最大A4カラー200ページ、A4モノクロのみ800ページです。原稿の種類によっては蓄積できる原稿枚数は異なります。また、ほかの機能を使用しているときはこれより少なくなります。

❒ ソート時、メモリーがいっぱいになったときに自動的に読み取ったページまでコピーを排出させ、継続して原稿を読み取り、コピーを仕上げるように設定を変更することができます。⇒使用説明書「コピー機能 応用編」「ソート全数読み取り設定」

1 【スタート】キーを押します。

読み取ったページまでコピーが排出され、メモリー内の画像はクリアされます。

2 コピーを取り除き、画面のメッセージに従ってコピーを続けます。

用紙が排紙されなかったとき

ステープル印刷の途中に印刷を中止したとき、印刷途中でステープルされなかった用紙がフィニッシャーの中に残ることがあります。

1 【リセット】キーを押し、ステープル機能を含む前のコピー設定を解除します。

2 次のコピーの原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

フィニッシャーの中に残っていた用紙が自動的に排紙され、新しいコピーが始まります。

補足

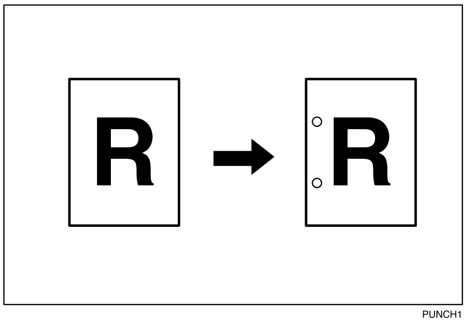
❒ 用紙が排紙されずメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがって用紙を取り除いてください。

1

パンチ

この機能を利用するためには、フィニッシャーが必要です。

コピーにパンチ穴を開けます。



制限

- ❒ 手差しトレイからの給紙はできません。
- ❒ パンチを選択すると原稿方向によっては回転コピーできません。このとき「余白ができます」のメッセージが表示されます。原稿または用紙の方向を変更してください。
- ❒ パンチできる用紙のサイズ、方向は次のとおりです。

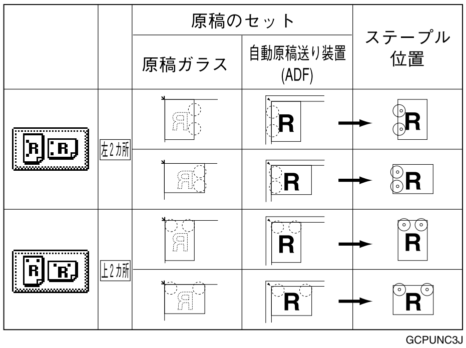
排紙先	用紙サイズ、方向
フィニッシャー	A3□、B4□、A4□□、B5□□、A5□、11×17□、Legal($8^1/_2$×14)□、Letter ($8^1/_2$×11)□□

補足

- ❒ 厚紙および OHP フィルムにパンチ穴を開けることはできません。
- ❒ パンチと集約、ダブルコピー、用紙指定変倍を組み合わせたとき、原稿と用紙の向きにより「余白ができます」のメッセージが表示されます。このようなときは、用紙の向きを変更してください。

❖ 原稿のセット方向とパンチ穴の位置

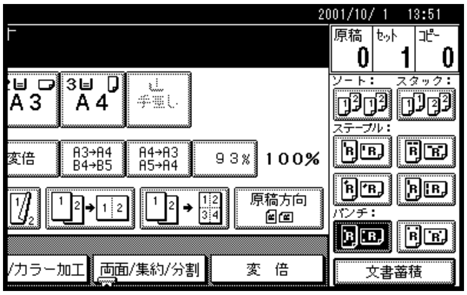
原稿のセット方向とパンチ穴の位置は次のとおりです。



補足

- ❒ コピー1枚ごとにパンチ穴を開けるため、パンチ穴の位置に多少のばらつきが生じます。
- ❒ パンチの位置は選択した用紙の方向で変わります。

1 **パンチの位置（［左］または［上］）を選択します。**



補足

- ❒ ステープルをするときは、ステープルの位置も選択します。⇒ P.41「ステープル」

2 **テンキーでコピーする部数を入力します。**

補足

- ❒ 間違えたときは、**【クリア／ストップ】**キーを押して入力し直します。
- ❒ ソートするときは、［ソート］を押します。

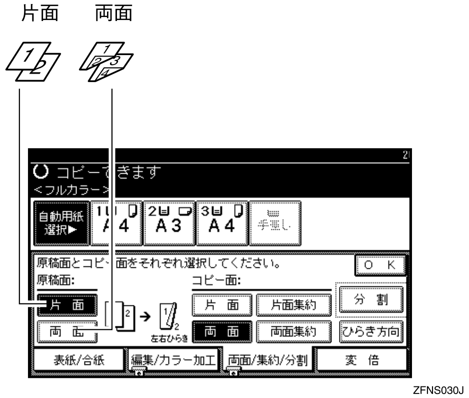
3 **原稿をセットし、【スタート】キーを押します。**

両面／集約について

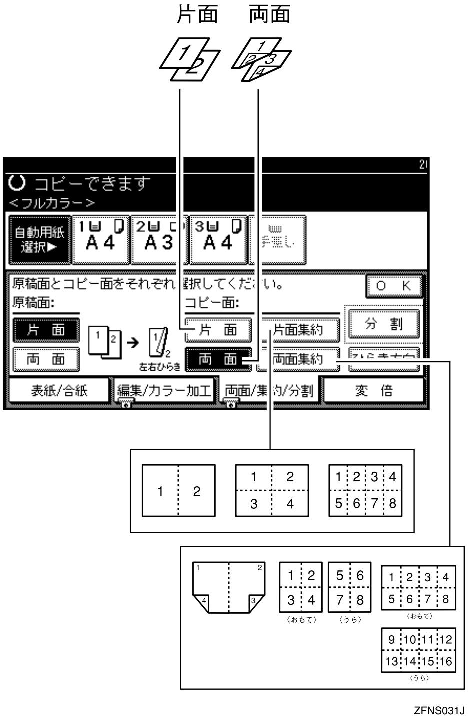
両面／集約の操作について

原稿面とコピー面の設定の組み合わせで、両面、集約、分割などいろいろなコピーができます。ここでは、各機能の操作の前に知っておいていただきたいことを説明します。機能の詳しい操作手順については、各ページをご覧ください。⇒ P.47 「両面」、P.50 「集約」

1 **原稿を確認し、原稿面を選択します。**



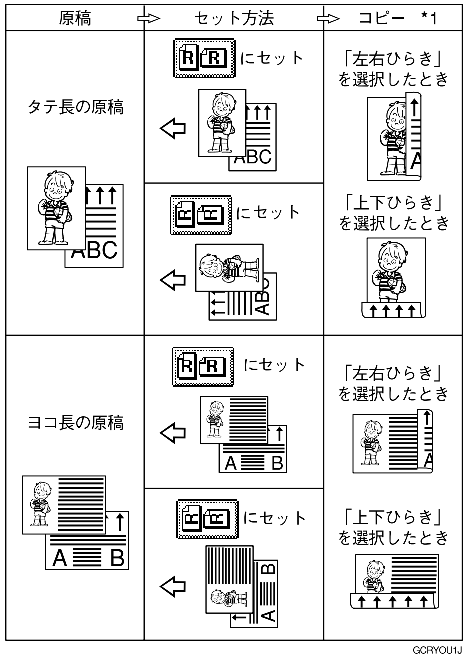
2 **コピー面を選択します。**



3 **[OK] を押します。**

原稿のセット向きとコピー結果

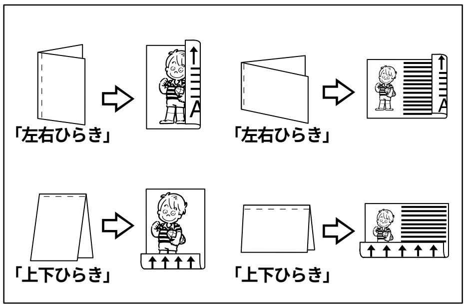
❶ **タテ長の原稿とヨコ長の原稿では原稿のセット方法によってコピーの結果が異なります。**



*1 **このイラストはコピーのおもてとうらの画像の向きを表しています。用紙の向きはコピーの排紙方向を示したものではありません。**

「左右ひらき」、「上下ひらき」について

❶ **コピーのひらく方向「左右ひらき」／「上下ひらき」を選択することができます。**



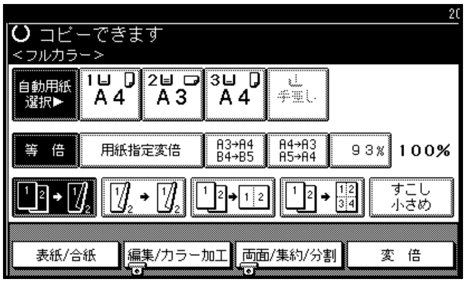
とじ方向の設定

両面／集約の機能を使って両面コピーするとき、原稿の開く方向を選択できます。

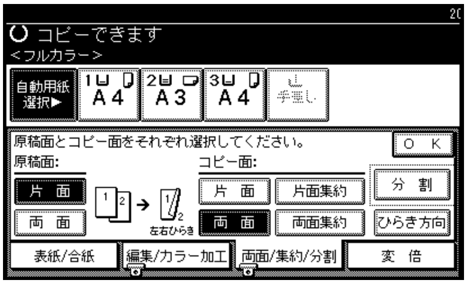
補足

❒ 設定しないと自動的に「左右ひらき」になります。コピー初期設定でひらき方向を変更することができます。⇒使用説明書「コピー機能 応用編」「両面原稿ひらき方向設定」

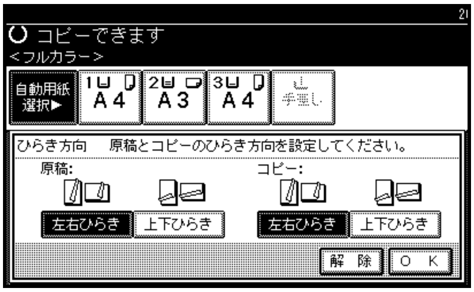
1 **［両面/集約/分割］を押します。**



2 **［ひらき方向］を押します。**



3 **原稿のひらき方向を選択し、コピーのひらき方向を選択します。**



4 **［OK］を押します。**

両面

片面 2 枚または両面の原稿を、用紙の両面にコピーします。

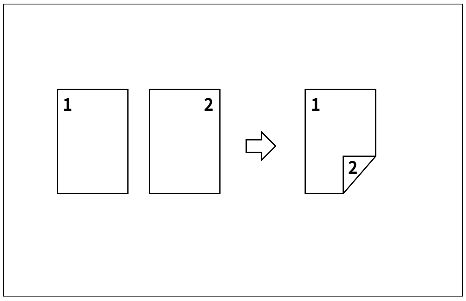
また同じ手順で、両面の原稿を片面2枚にコピーすることもできます。

両面

この機能を利用するためには、拡張HDD（40GB）と両面ユニットが必要です。

両面には次の種類があります。

❖ **片面→両面**
2枚の片面原稿を用紙の両面にコピーします。



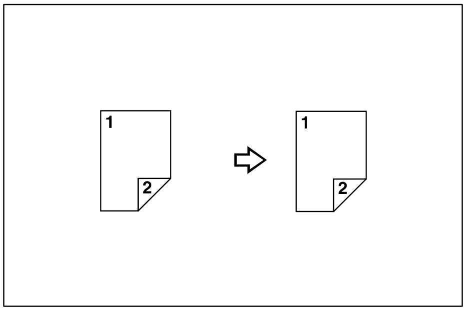
補足

❒ 自動原稿送り装置(ADF)に原稿を奇数枚セットしたとき、最後にコピーされた用紙の片面が白紙になります。

❒ 画像はとじしろ分だけ移動してコピーされます。とじしろ幅や位置は変更することができます。また、初期設定値を変更することもできます。⇒ 使用説明書「コピー機能 応用編」「左右とじしろ幅設定（おもて面）」、「左右とじしろ幅設定（うら面）」、「上下とじしろ幅設定（おもて面）」、「上下とじしろ幅設定（うら面）」

❒ 自動的にうら面にとじしろを設定することができます。⇒使用説明書「コピー機能 応用編」「片面→両面時裏面自動左右とじしろ」

❖ **両面→両面**
両面原稿を用紙の両面にコピーします。



制限

❒ 次の用紙には両面コピーできません。

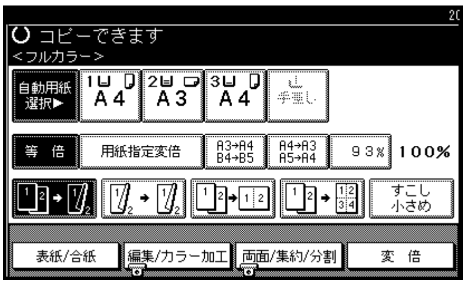
- A5 以下の小さいサイズの用紙（A5□ は両面コピーできます。）
- A3を超える大きいサイズの用紙
- トレーシングペーパー（第二原図用紙）
- ハクリ紙
- OHPフィルム
- 厚紙
- はがき

❒ 両面コピーを行うとき、手差しコピーはできません。

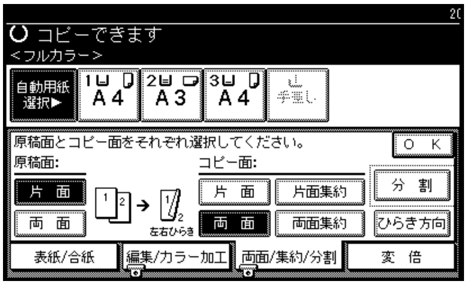
補足

❒ 両面コピーできる用紙の紙厚は60～105g/m²（55～90kg）です。

1 **［両面/集約/分割］を押します。**



2 **原稿面の［片面］または［両面］を押し、コピー面の［両面］を押します。**



補足

❒ コピーのひらき方向を「上下ひらき」に変更するときは、［ひらき方向］を押して［上下ひらき］を選択してください。

3 **［OK］を押します。**

4 **原稿をセットし、【スタート】キーを押します。**

原稿ガラスまたは大量原稿機能で自動原稿送り装置(ADF)に原稿をセットするとき

❶ **原稿をセットし、【スタート】キーを押します。**

補足

❒ 先頭ページから順にセットします。

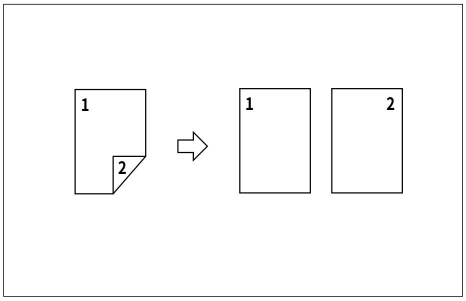
❷ **次の原稿をセットします。原稿ガラスのときは【スタート】キーを押します。**

❸ **原稿の最後に【#】キーを押します。**

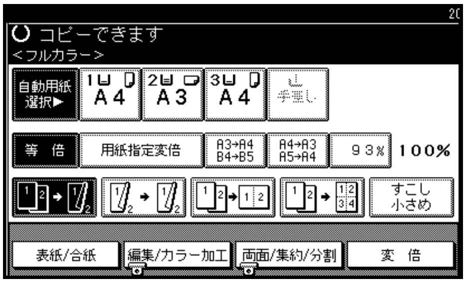
両面→片面

この機能を利用するためには、自動原稿送り装置（ADF）が必要です。

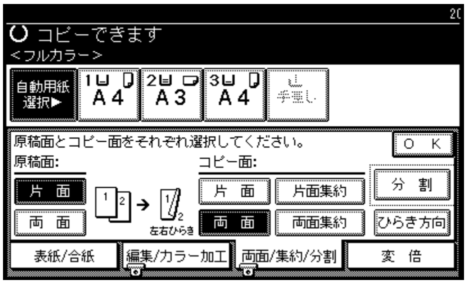
両面原稿を2枚の用紙の片面にコピーします。



1 **［両面/集約/分割］を押します。**



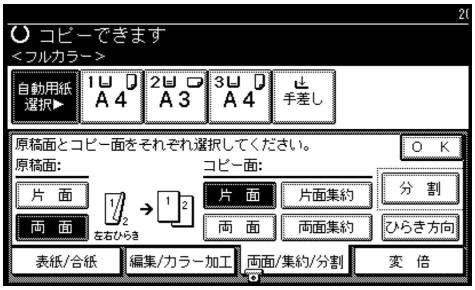
2 **原稿面の［両面］を押し、コピー面の［片面］を押します。**



補足

❒ コピーのひらき方向を「上下ひらき」に変更するときは、［ひらき方向］を押して［上下ひらき］を選択してください。⇒P.46「とじ方向の設定」

3 [OK] を押します。



4 原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

原稿ガラスまたは大量原稿機能で自動原稿送り装置(ADF)に原稿をセットするとき

---

❶ 原稿の表面をセットし、【スタート】キーを押します。

❷ 原稿の裏面をセットします。原稿ガラスのときは【スタート】キーを押します。

❸ 原稿の最後に【#】キーを押します。

集約

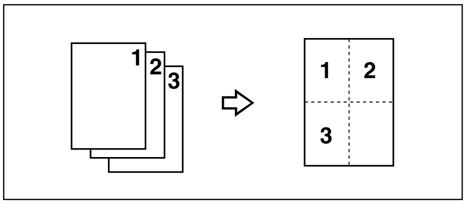
複数枚の原稿を 1 枚の用紙にまとめてコピーします。片面集約はコピーする面が片面で、両面集約はコピーする面が両面です。

制限

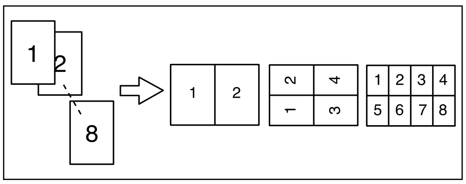
- ❒ 手差しコピーはできません。
- ❒ 計算された縮小率が指定できる最小倍率以下のときは、最小倍率に補正されます。このとき画像が欠けることがあります。

補足

- ❒ 用紙サイズと集約数に合わせて自動的に倍率を設定し、用紙にまとめてコピーします。
- ❒ 指定される倍率は25〜400%です。
- ❒ 画像を分ける仕切線を入れることができます。⇒使用説明書「コピー機能　応用編」「集約コピー仕切り線」
- ❒ 用紙の方向と一致しなくても、自動的に画像を90°回転してコピーします。
- ❒ 集約コピーするとき、原稿の周辺 3mm を自動的に消去することができます。⇒使用説明書「コピー機能　応用編」「集約コピー時枠消去」
- ❒ 原稿枚数が設定した集約数より少ないとき次のように空白でコピーされます。

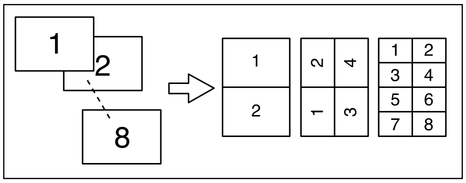


- ❒ 集約の面付け順は変更することができます。⇒使用説明書「コピー機能　応用編」「集約時並び順」
- ❒ 原稿の□□方向と集約の画像位置
  - タテ長（□）原稿のとき



GC SHUY 1J

  - ヨコ長（□）原稿のとき

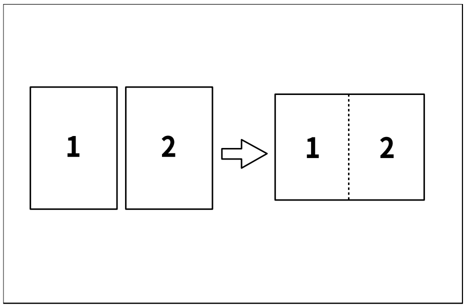


GC SHUY 2J

片面集約

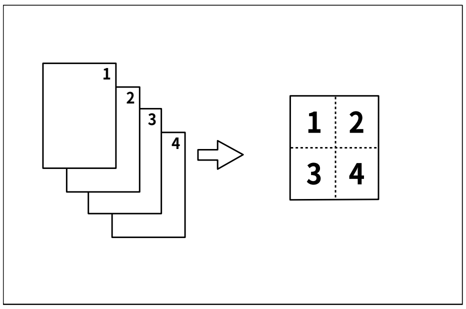
用紙の片面にまとめてコピーします。

❖ **片面2枚→片面1枚**
2枚の片面原稿を用紙の左右見開きにコピーします。



GC SHUY 7J

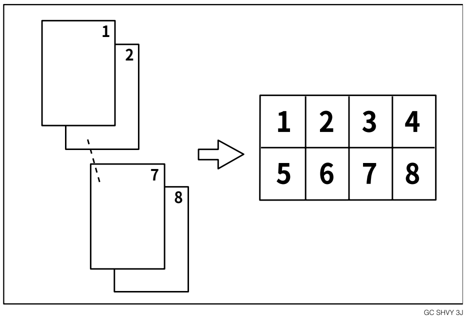
❖ **片面4枚→片面1枚**
4枚の片面原稿を用紙の片面にまとめてコピーします。



GC SHUY 8J

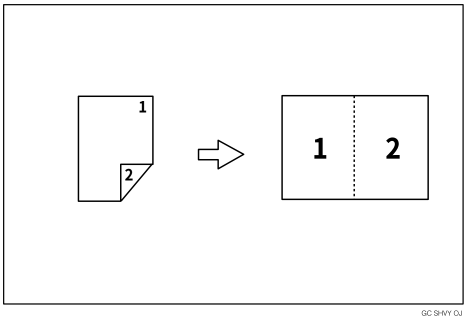
❖ 片面8枚→片面1枚

8枚の片面原稿を用紙の片面にまとめてコピーします。



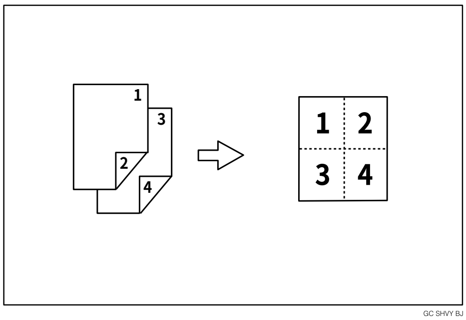
❖ 両面1枚→片面1枚

1枚の両面原稿を用紙の片面にまとめてコピーします。



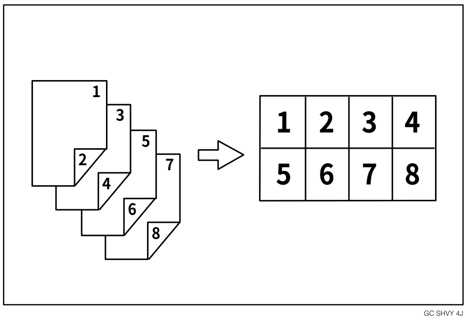
❖ 両面2枚→片面1枚

2枚の両面原稿を用紙の片面にまとめてコピーします。

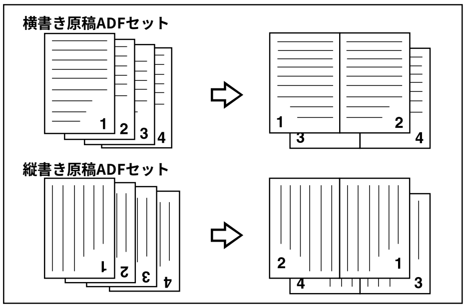


❖ 両面4枚→片面1枚

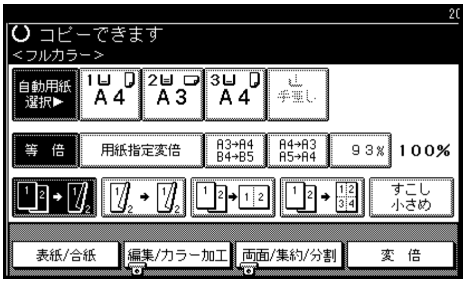
4枚の両面原稿を用紙の片面にまとめてコピーします。



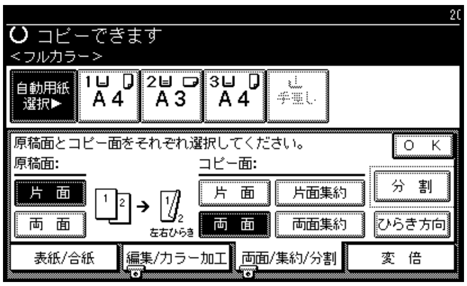
❖ 片面2枚→片面1枚のときの原稿のセット方法とコピー



1 ［両面/集約/分割］を押します。

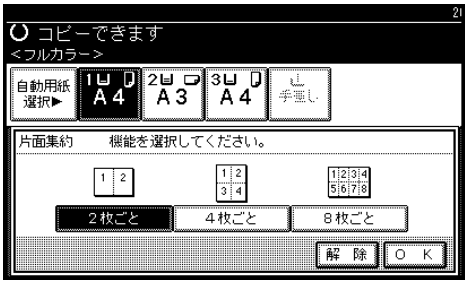


2 原稿が片面か両面か選択します。



3 ［片面集約］を押します。

4 何ページの原稿をまとめるのか選択し、[OK] を押します。



補足

- ❒ ひらき方向を変更するときは、[ひらき方向] を押して設定してください。⇒ P.46 「とじ方向の設定」

5 [OK] を押します。

6 用紙を選択します。

7 原稿をセットし、【スタート】キーを押します。

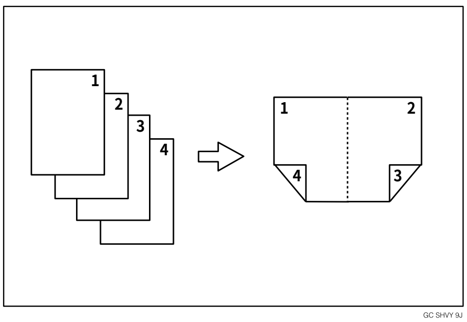
両面集約

この機能を利用するためには、拡張HDD（40GB）と両面ユニットが必要です。

用紙の両面にまとめてコピーします。

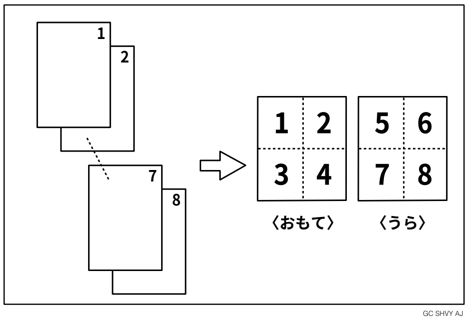
❖ **片面4枚→両面1枚**

4枚の片面原稿を用紙の左右見開きの両面にコピーします。



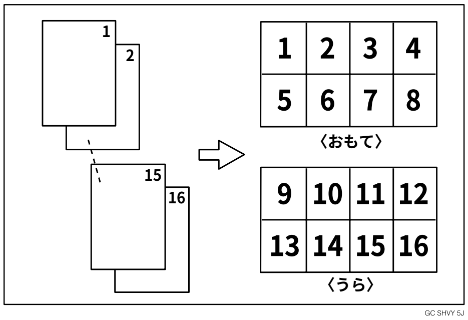
❖ **片面8枚→両面1枚**

8枚の片面原稿を用紙の両面にまとめてコピーします。



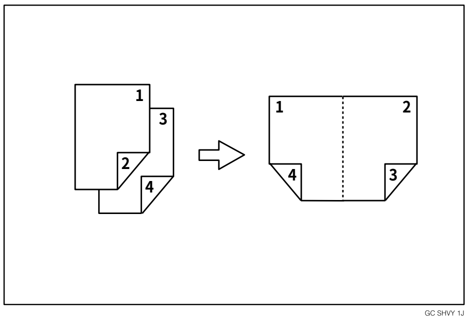
❖ **片面16枚→両面1枚**

16枚の片面原稿を用紙の両面にまとめてコピーします。



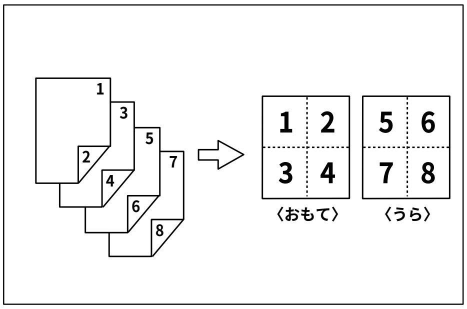
❖ **両面2枚→両面1枚**

2枚の両面原稿を用紙の両面にまとめてコピーします。



❖ **両面4枚→両面1枚**

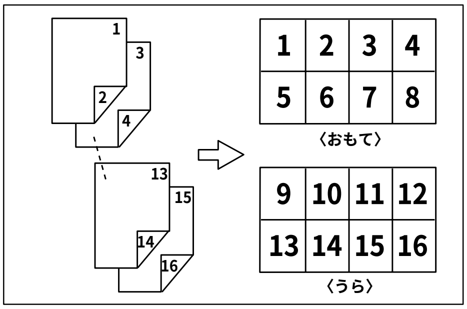
4枚の両面原稿を用紙の両面にまとめてコピーします。



GC SHVY 2J

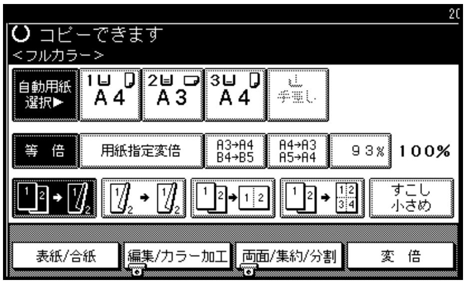
❖ **両面8枚→両面1枚**

8枚の両面原稿を用紙の両面にまとめてコピーします。

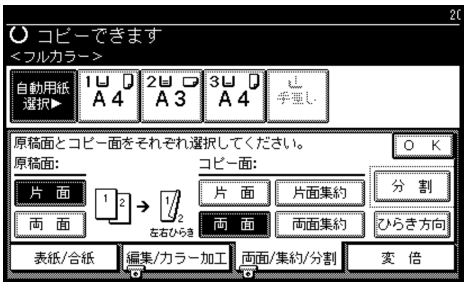


GC SHVY 6J

1 **［両面/集約/分割］を押します。**

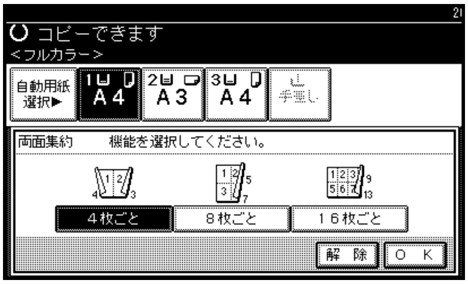


2 **原稿が片面か両面か選択します。**



3 **［両面集約］を押します。**

4 **何ページの原稿をまとめるのか選択し、［OK］を押します。**



補足

❒ ひらき方向を変更するときは、［ひらき方向］を押して設定してください。⇒P.46「とじ方向の設定」

5 **［OK］を押します。**

6 **用紙を選択します。**

7 **原稿をセットし、【スタート】キーを押します。**

索引

アルファベット索引

あ行

か行

さ行

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品（ハードウエア、ソフトウエア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

株式会社リコー
東京都港区南青山1-15-5 リコービル 〒107-8544
（03）3479-3111（代表）

IPSiO Color8150 使用説明書〈コピー機能 基本編〉

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についての消耗品のご注文や修理、製品の操作方法に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にご連絡ください。
修理については、修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。

補足

- 転居の際は、販売店またはサービス実施店にご相談ください。転居先の最寄りの販売店、サービス実施店をご紹介いたします。

コピー機能の操作方法に関するお問い合わせは、
「リコープリンターコールセンター、IPSiO（イプシオ）ダイヤル」にご連絡ください。

0120 FreeDial **0120-56-1240**（コールはイプシオ）

●受付時間：9〜12時、13〜17時（土、日、祝祭日、リコーの休業日を除く）

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

リコーは環境に配慮し、説明書の印刷に大豆から作られたインキの使用を推進しています。
この説明書はエコマーク商品に認定された再生紙を使用し、リサイクルに配慮し製本しています。この説明書が不要になったときは、資源回収、リサイクルに出しましょう。

2002年2月　G570-8517A